



無
福
子
乃
是

十
編
上

玉町源氏研
卷柳 種之次
他梅 晴画 圖



玉町源氏研
種之次

文年の後より興自小室町源氏と披露して月春々々二歳経ぬ間小
七八編に陸續刊行す小十編を其葉をそよひのり傍花園分花柳野へ
衆入んとする小至る夢見る蝶の一時の隙に一部の結構の半小疊を
筆に重くも淀まき促しゆ御貝負の力に絶る綱手繩船で口裏よ
りぐと川二編に二人が相乗の鹿背山胡蝶心の鞘當不和とるをえぬ
名見屋帯縁のりつてもとた拭く油をうる實を残り花小
長編飽で御覧せしめあつてこころま

慶應二年丙寅春新彫

柳亭種彦





空置八重子

鹿原花亭



乙影無次郎

空田



さかき...
まろ...
さかき...
まろ...
さかき...
まろ...

あつ...
あつ...
あつ...
あつ...

あつ...
あつ...
あつ...

あつ...
あつ...
あつ...



あつ...
あつ...
あつ...

あつ...
あつ...
あつ...

あつ...
あつ...
あつ...



あつ...
あつ...
あつ...



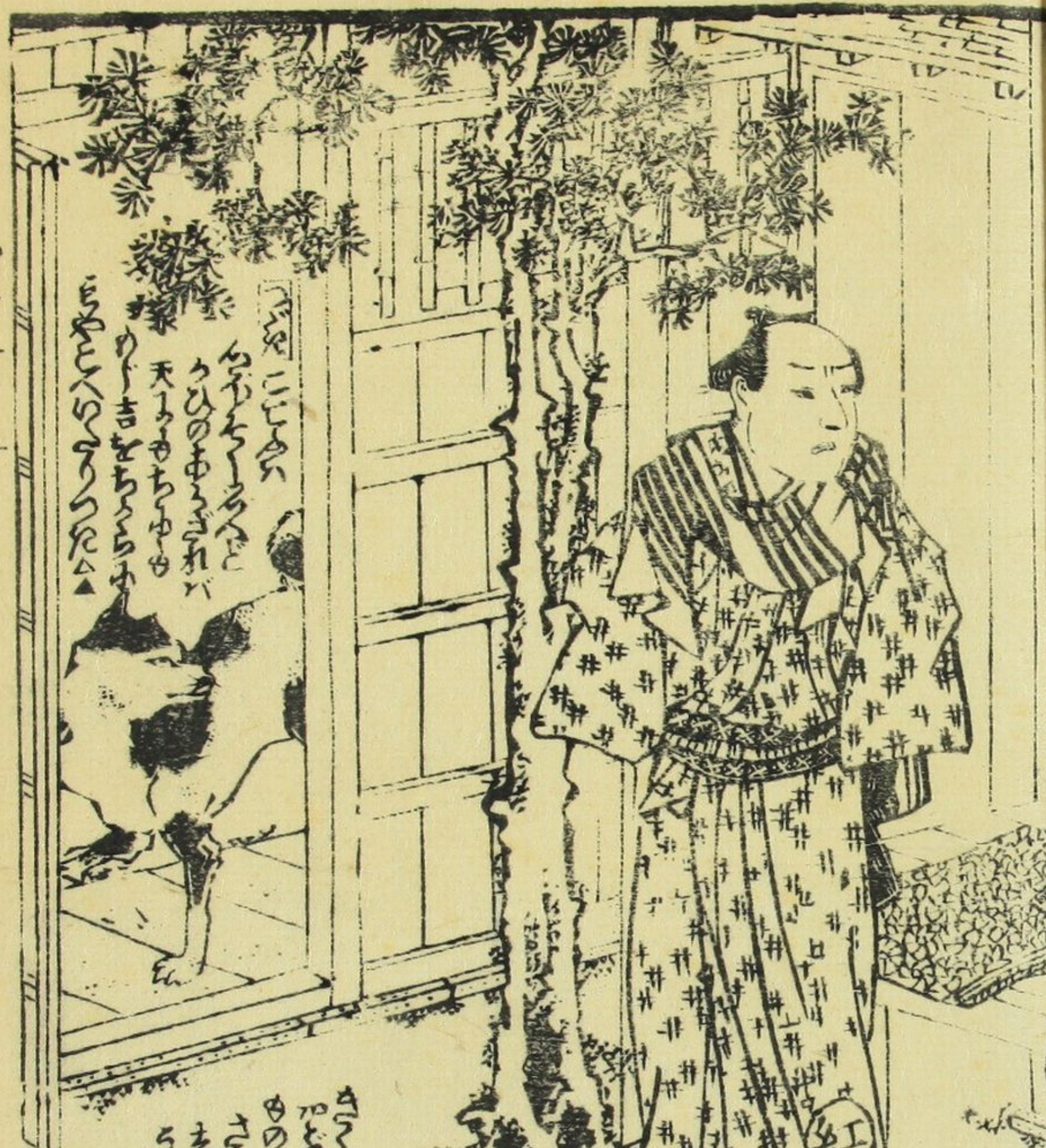
甲のま
 乙のま
 丙のま
 丁のま
 戊のま
 己のま
 庚のま
 辛のま
 壬のま
 癸のま



甲のま
 乙のま
 丙のま
 丁のま
 戊のま
 己のま
 庚のま
 辛のま
 壬のま
 癸のま

二

甲
 乙
 丙
 丁
 戊
 己
 庚
 辛
 壬
 癸



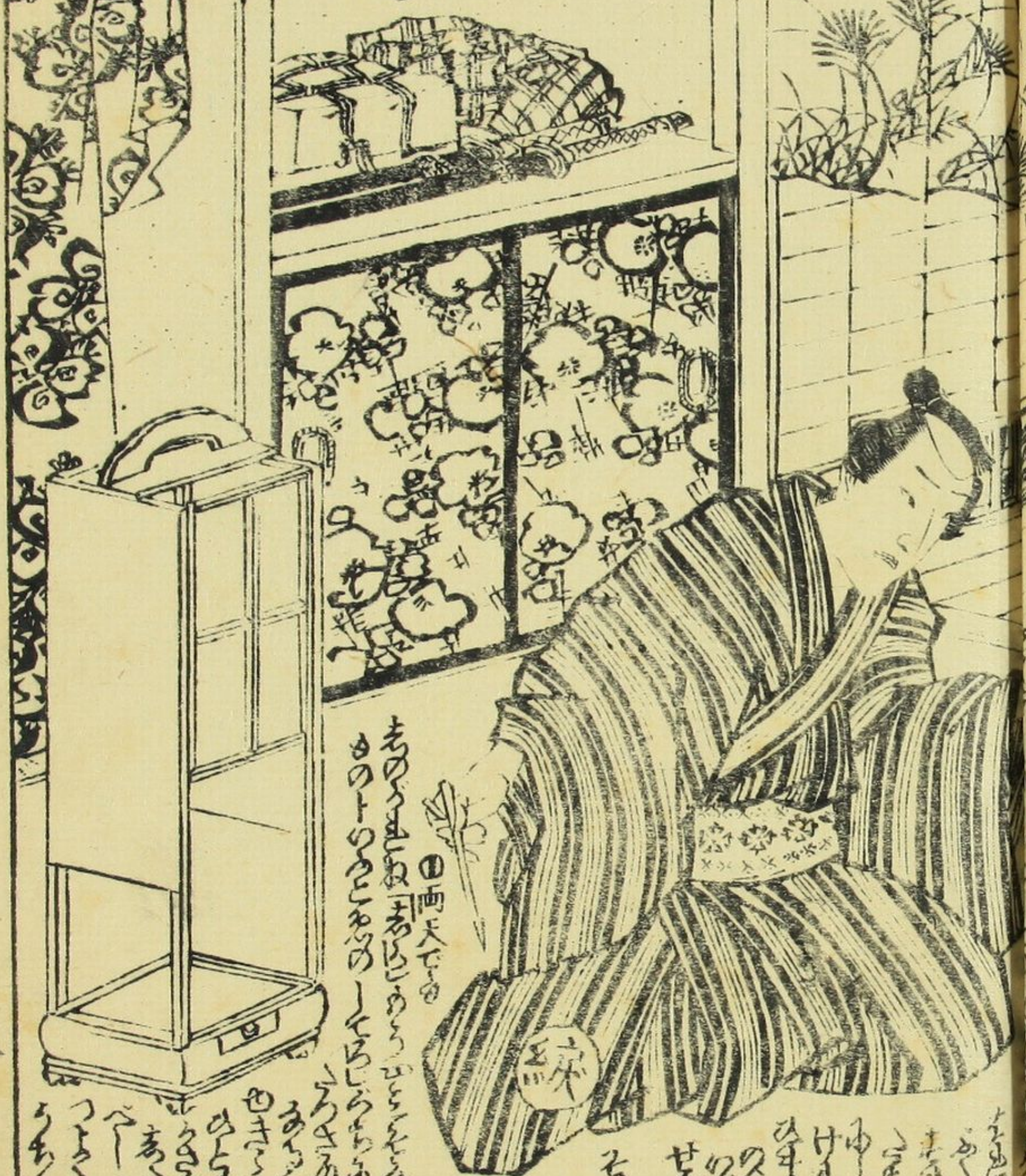
あつちいあんこ
うひのあつちい
天のあつちい
ゆきあつちい

あつちいあんこ
うひのあつちい
天のあつちい
ゆきあつちい
あつちいあんこ
うひのあつちい
天のあつちい
ゆきあつちい
あつちいあんこ
うひのあつちい
天のあつちい
ゆきあつちい
あつちいあんこ
うひのあつちい
天のあつちい
ゆきあつちい



あつちいあんこ
うひのあつちい
天のあつちい
ゆきあつちい
あつちいあんこ
うひのあつちい
天のあつちい
ゆきあつちい
あつちいあんこ
うひのあつちい
天のあつちい
ゆきあつちい

のめあけつるきつるあやふよきをりのうのうのへんしんしんしんとしあろまそろふん



あやふよきをりのうのうのへんしんしんしんとしあろまそろふん
あやふよきをりのうのうのへんしんしんしんとしあろまそろふん
あやふよきをりのうのうのへんしんしんしんとしあろまそろふん
あやふよきをりのうのうのへんしんしんしんとしあろまそろふん

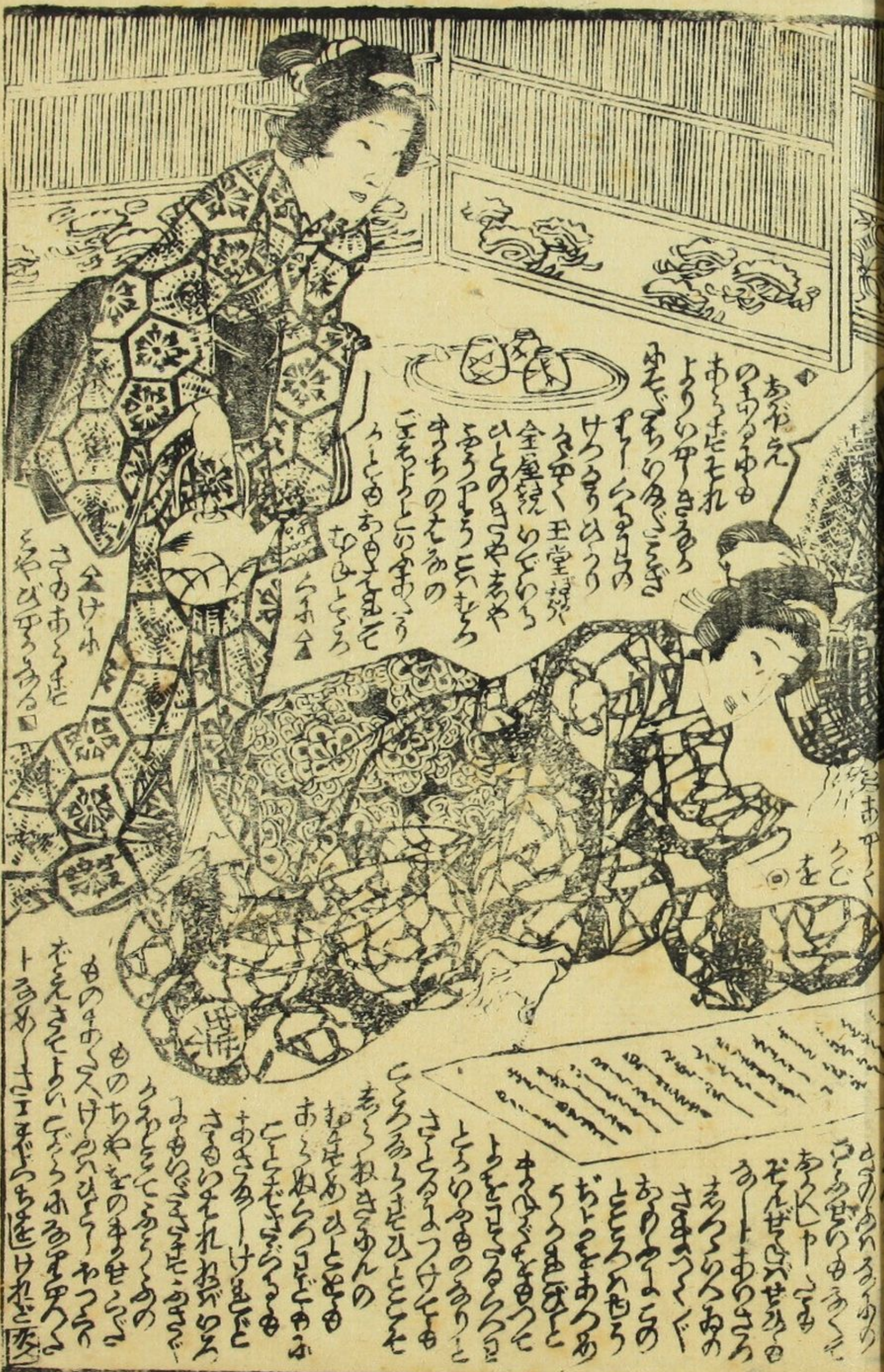
あやふよきをりのうのうのへんしんしんしんとしあろまそろふん



あやふよきをりのうのうのへんしんしんしんとしあろまそろふん
あやふよきをりのうのうのへんしんしんしんとしあろまそろふん
あやふよきをりのうのうのへんしんしんしんとしあろまそろふん
あやふよきをりのうのうのへんしんしんしんとしあろまそろふん

宝田

宝田



あやえ
のまゆゆゆ
あつたそれ
よりの甲さあ
ゆまののまゆゆ
まゆゆゆゆ
けつりゆゆゆ
なかの玉座
全座のゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ

あやえ
のまゆゆゆ
あつたそれ
よりの甲さあ
ゆまののまゆゆ
まゆゆゆゆ
けつりゆゆゆ
なかの玉座
全座のゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ

ゆまののまゆゆ
まゆゆゆゆ
けつりゆゆゆ
なかの玉座
全座のゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ

ゆまののまゆゆ
まゆゆゆゆ
けつりゆゆゆ
なかの玉座
全座のゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ

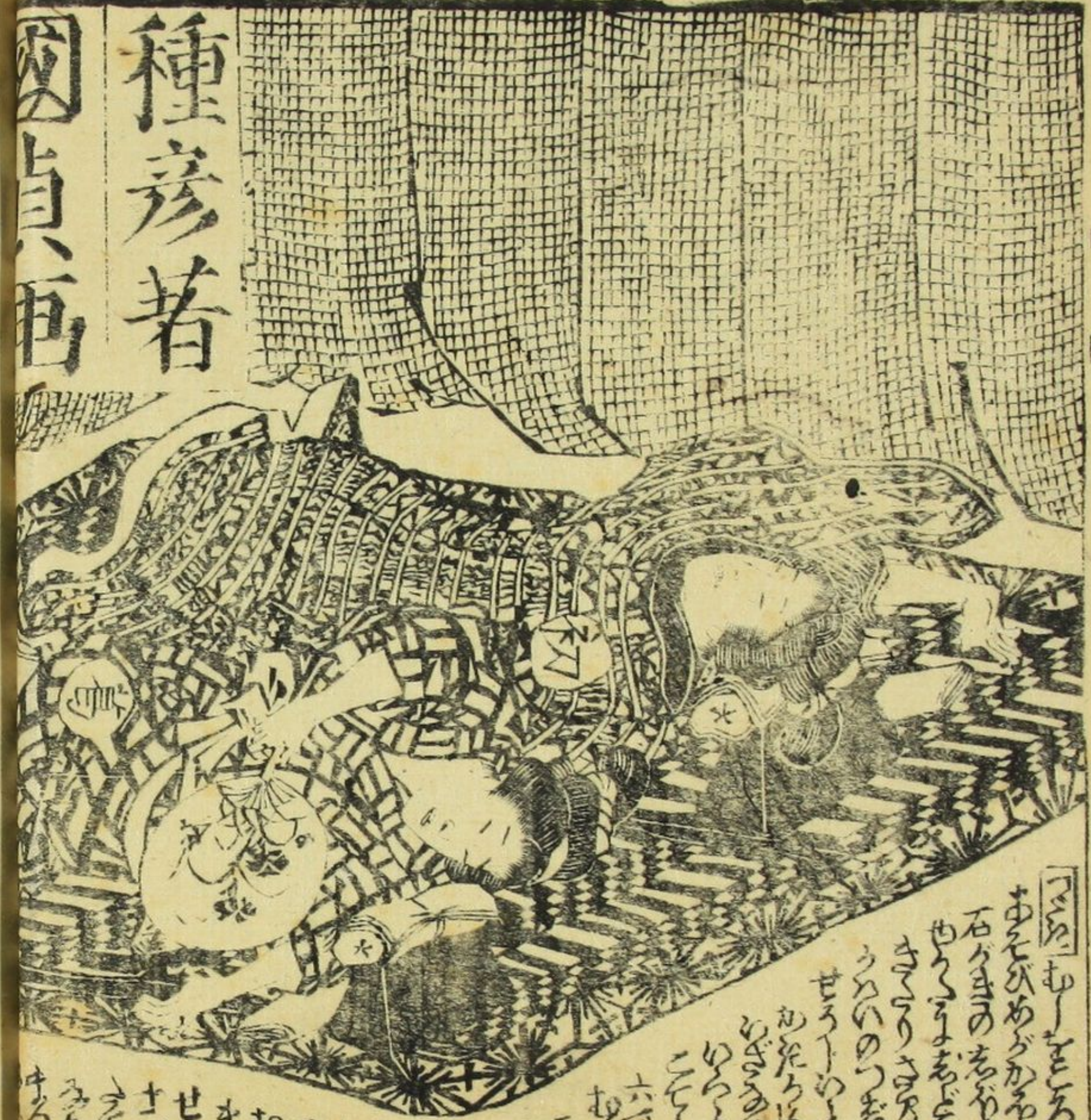


あやえ
のまゆゆゆ
あつたそれ
よりの甲さあ
ゆまののまゆゆ
まゆゆゆゆ
けつりゆゆゆ
なかの玉座
全座のゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ

あやえ
のまゆゆゆ
あつたそれ
よりの甲さあ
ゆまののまゆゆ
まゆゆゆゆ
けつりゆゆゆ
なかの玉座
全座のゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ

あやえ
のまゆゆゆ
あつたそれ
よりの甲さあ
ゆまののまゆゆ
まゆゆゆゆ
けつりゆゆゆ
なかの玉座
全座のゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ

あやえ
のまゆゆゆ
あつたそれ
よりの甲さあ
ゆまののまゆゆ
まゆゆゆゆ
けつりゆゆゆ
なかの玉座
全座のゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ
ゆゆゆゆゆ



種彦著

國貞画

此の屏風は種彦の筆で、國貞が画したものである。その内容は、山々亭の風景を描いたものである。山々亭は、梅朝樓の隣りにある亭子である。この屏風は、室町時代の名品である。その中には、種彦の署名と國貞の署名が見られる。また、この屏風の裏面に、種彦の自伝的な文章が記されている。その文章は、種彦の生い立ちや、この屏風の制作経緯について述べている。また、種彦の没年についても記されている。この屏風の大きさは、縦二丈、横四丈である。その素材は、絹である。その色は、黒と白の二色である。その装飾は、金と銀の二色である。その価値は、非常に高いとされている。この屏風の現在所蔵場所は、東京の国立博物館である。その展示場所は、日本美術館である。その展示期間は、毎年三月から六月までである。その展示時間は、午前九時から午後五時である。その入場料は、大人五百円、小人二百五十円である。その問い合わせ先は、国立博物館の受付である。その電話番号は、〇三三-〇〇〇〇である。そのウェブサイトは、www.kmuh.or.jpである。

實心散

中橋南傳馬町東側
一葉堂孝輔製

柳蔭月朝妻

六編
出板

山々亭有人作
梅朝樓國貞画

藝黃鷗八幡不知

五編
出板

山々亭有人作
錦朝樓芳席画

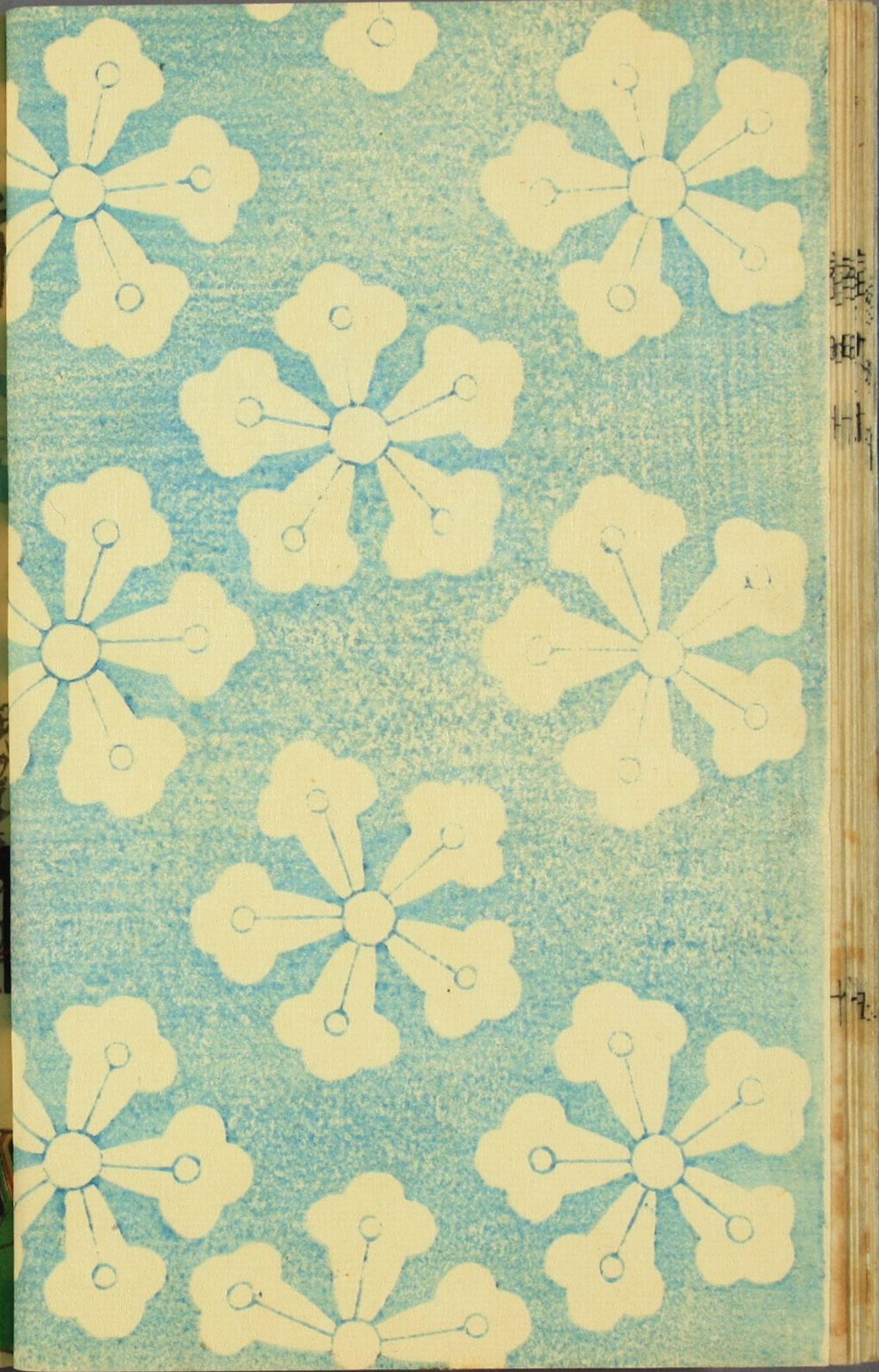
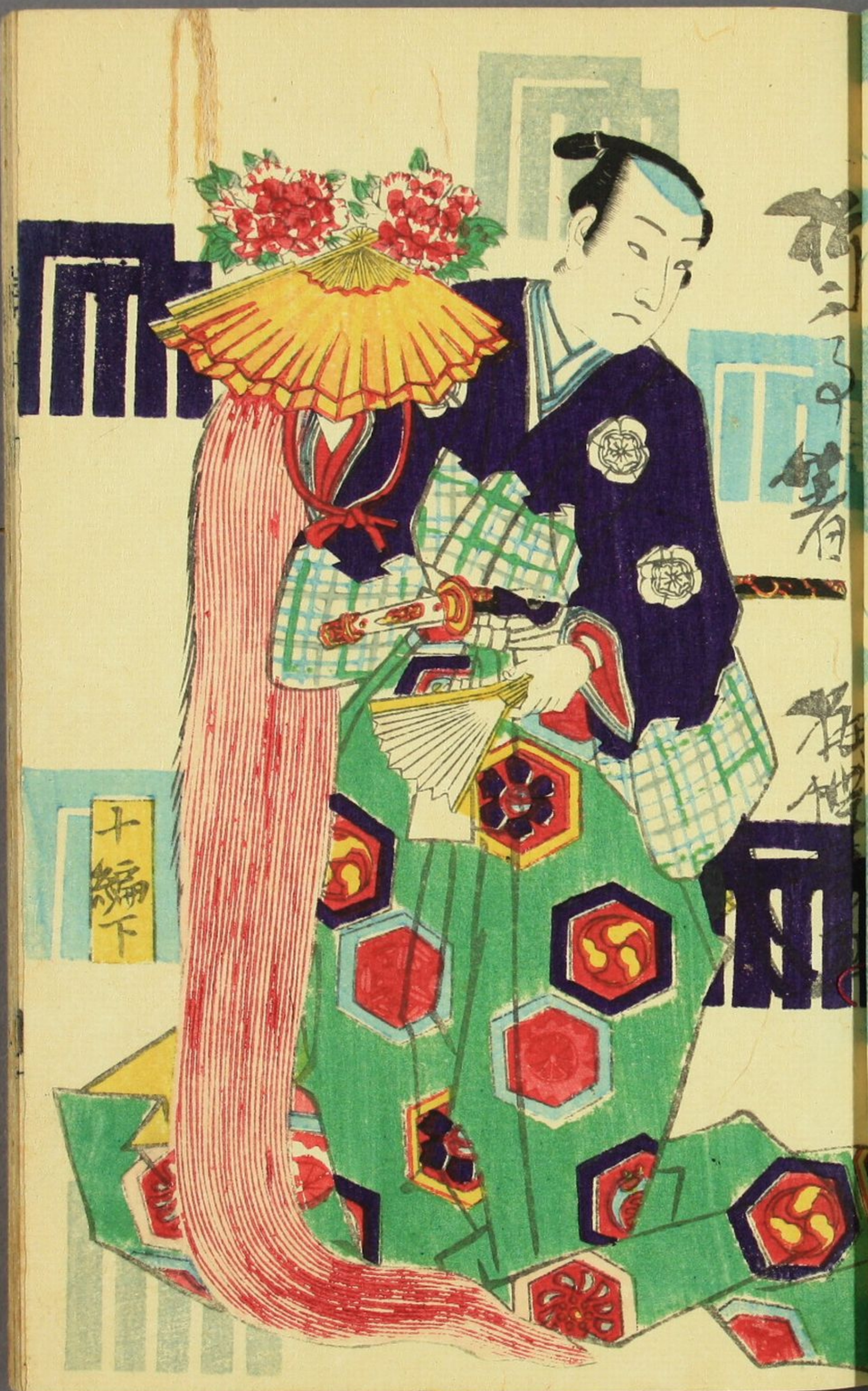
阿玉ヶ池櫛月形

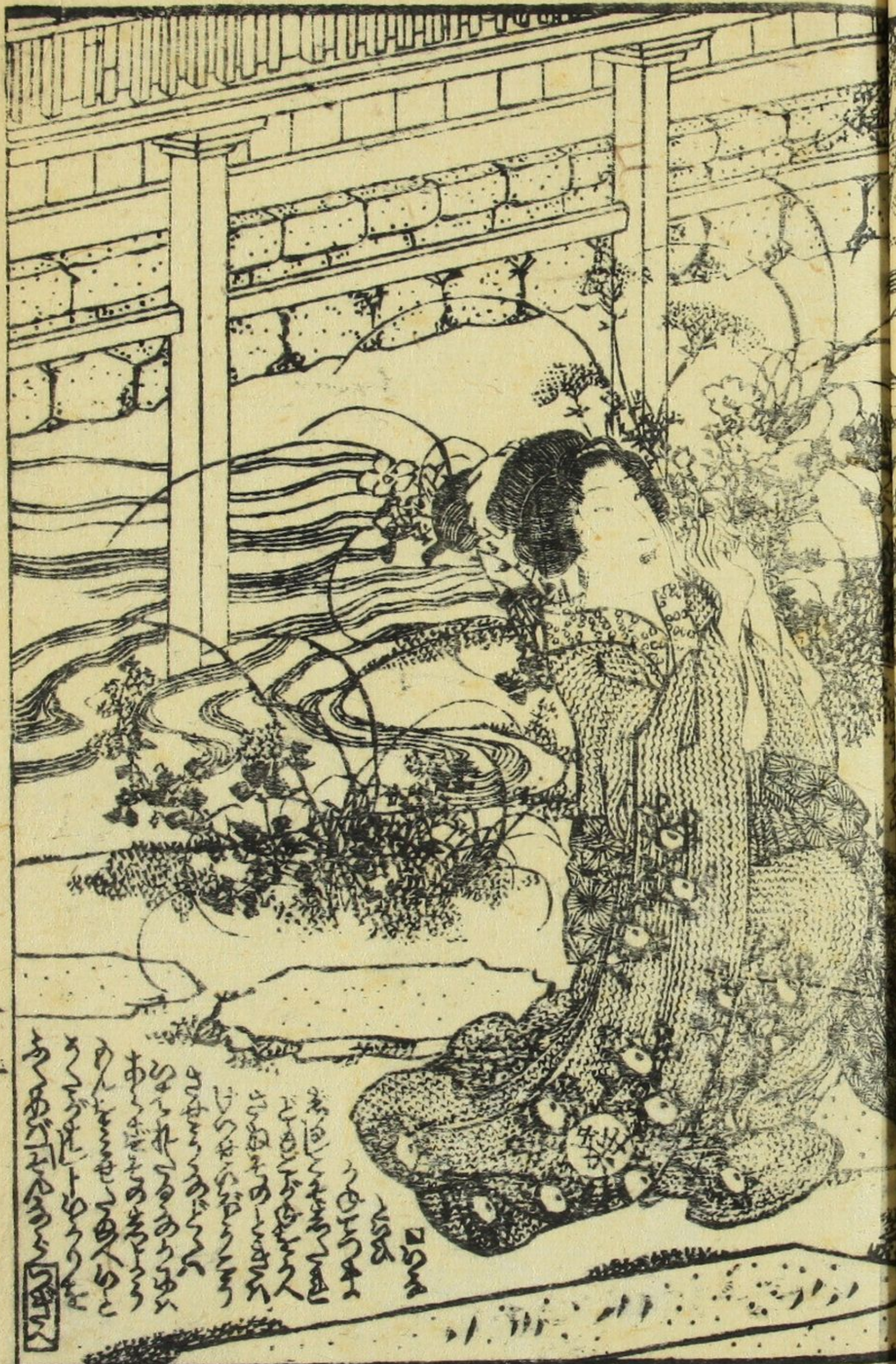
初編
追々出板

山々亭有人作
陽齋豊國画

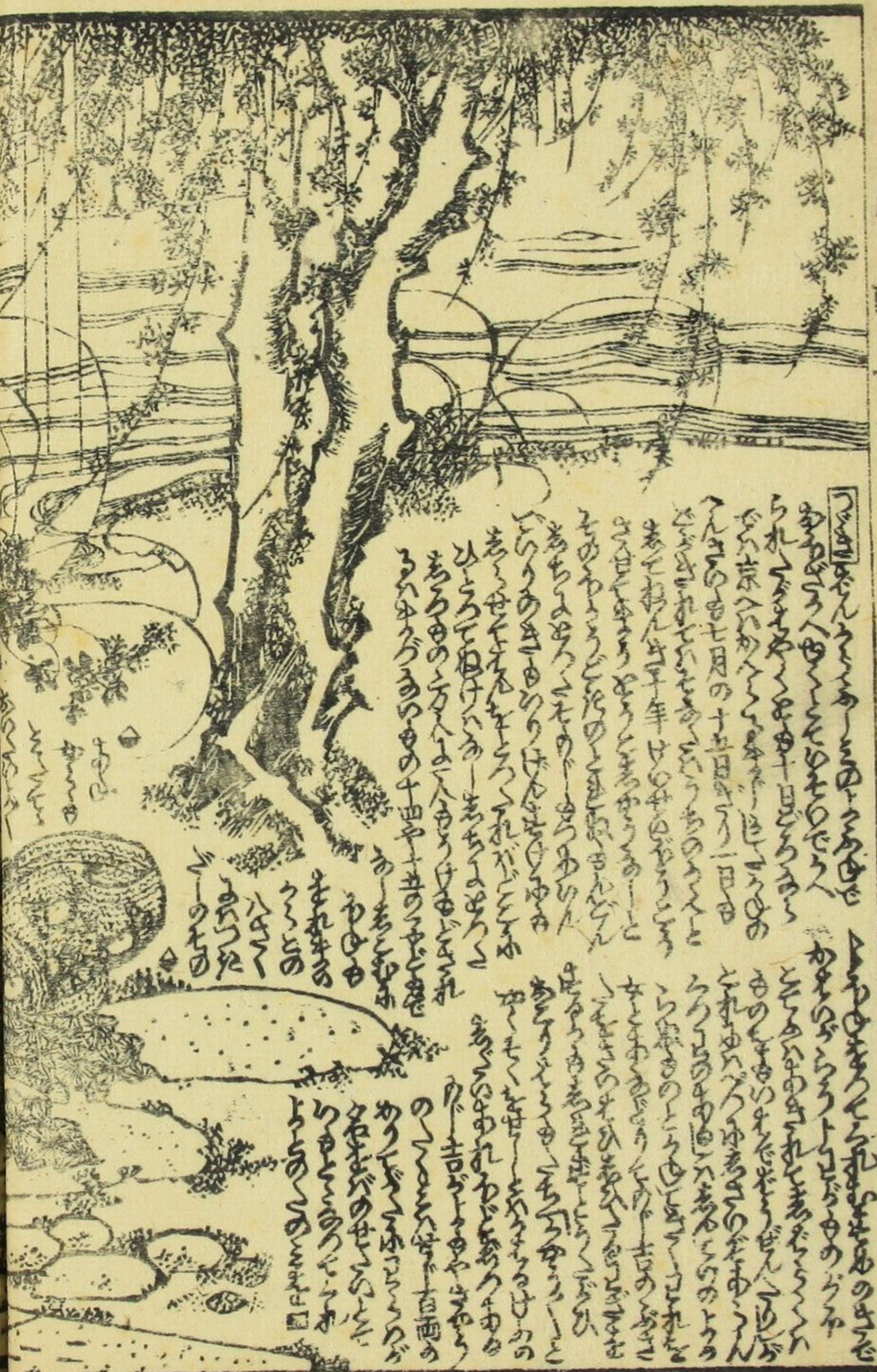
地本綿繪團扇問屋

紅英堂 葛吉





うつらうつら
 花の影を
 しのびて
 あはれと
 うらみと
 のちのち
 夢の跡



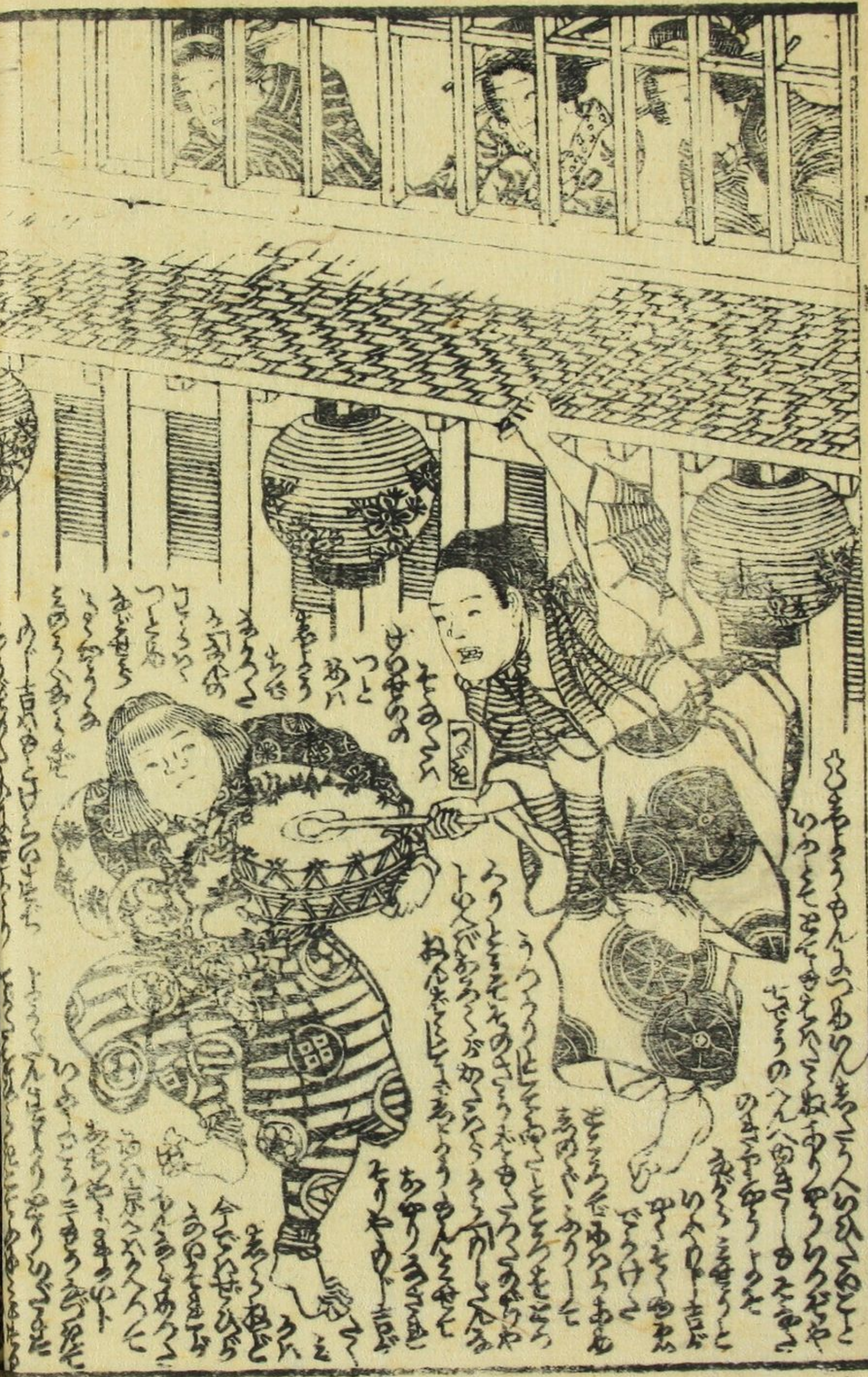
五田下
 花の影を
 しのびて
 あはれと
 うらみと
 のちのち
 夢の跡



あまのついで
あまのついで
あまのついで

あまのついで
あまのついで
あまのついで

あまのついで
あまのついで
あまのついで



あまのついで
あまのついで
あまのついで

あまのついで
あまのついで
あまのついで

あまのついで
あまのついで
あまのついで

Handwritten text in the upper left corner of the left page, including the characters '山' and '田'.

Handwritten text in the middle left margin of the left page.

Handwritten text in the lower left margin of the left page.



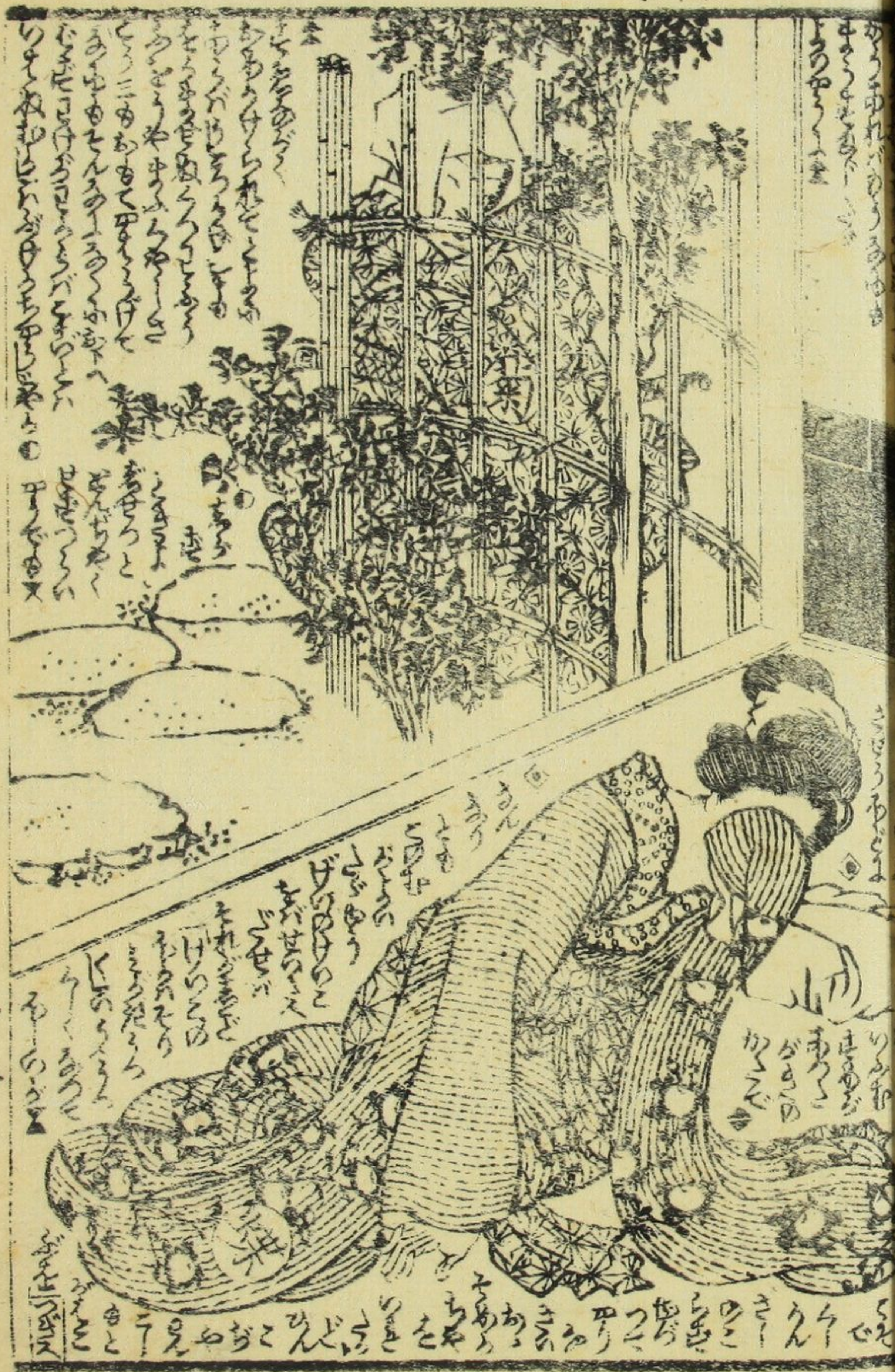
Handwritten text in the lower right margin of the left page, continuing the narrative or dialogue.

Handwritten text in the upper right margin of the right page.

Large vertical calligraphic characters on the right page, likely a title or chapter heading.



Handwritten text in the lower right margin of the right page.



Handwritten text in the upper left corner of the left page, including the characters '山' and '田'.

Handwritten text in the lower left corner of the left page, including the characters '山' and '田'.



Handwritten text in the upper right corner of the right page, including the characters '山' and '田'.

Handwritten text in the lower right corner of the right page, including the characters '山' and '田'.



Small columns of handwritten text at the bottom of the left page, continuing the narrative.



Small columns of handwritten text at the bottom of the right page, continuing the narrative.



Handwritten Japanese text in the upper left corner of the page, including a small boxed header.

Handwritten Japanese text in the lower left corner of the page.



Handwritten Japanese text in the upper left corner of the right page, including a small boxed header.

Handwritten Japanese text in the lower left corner of the right page.

Handwritten Japanese text in the lower right corner of the right page, including a small boxed header.

明治七年甲戌陽春開板標目

種彦著國貞画



此の二女は、
 春水の筆で描かれた。
 左の女は、
 右の女は、
 春水の筆で描かれた。
 此の二女は、
 春水の筆で描かれた。
 左の女は、
 右の女は、
 春水の筆で描かれた。

厚化粧萬年嶋田

八編 春水作
 十編 國貞画

新司九尾傳

十三 春水作
 出板 國貞画

室町源氏胡蝶卷

廿三 種彦作
 出板 國貞画

筆海四國聞書

十三 種彦作
 出板 國貞画

鼠祠通夜譚

八編 種彦作
 出板 國貞画

明鴉墨画廻禰禰

十五 種彦作
 出板 國貞画

童謡妙々車

二十五 種彦作
 出板 國貞画

花封荅玉章

十編 種彦作
 大尾 國貞画

薄倂幼日記

廿七 春水作
 出板 國貞画

八犬傳大の友紙

五十 柳亭作
 出板 國政画

七幼き葛飾譚

十 追 種彦作
 出板 國貞画

南傳馬町壹丁目
 葛屋吉藏板



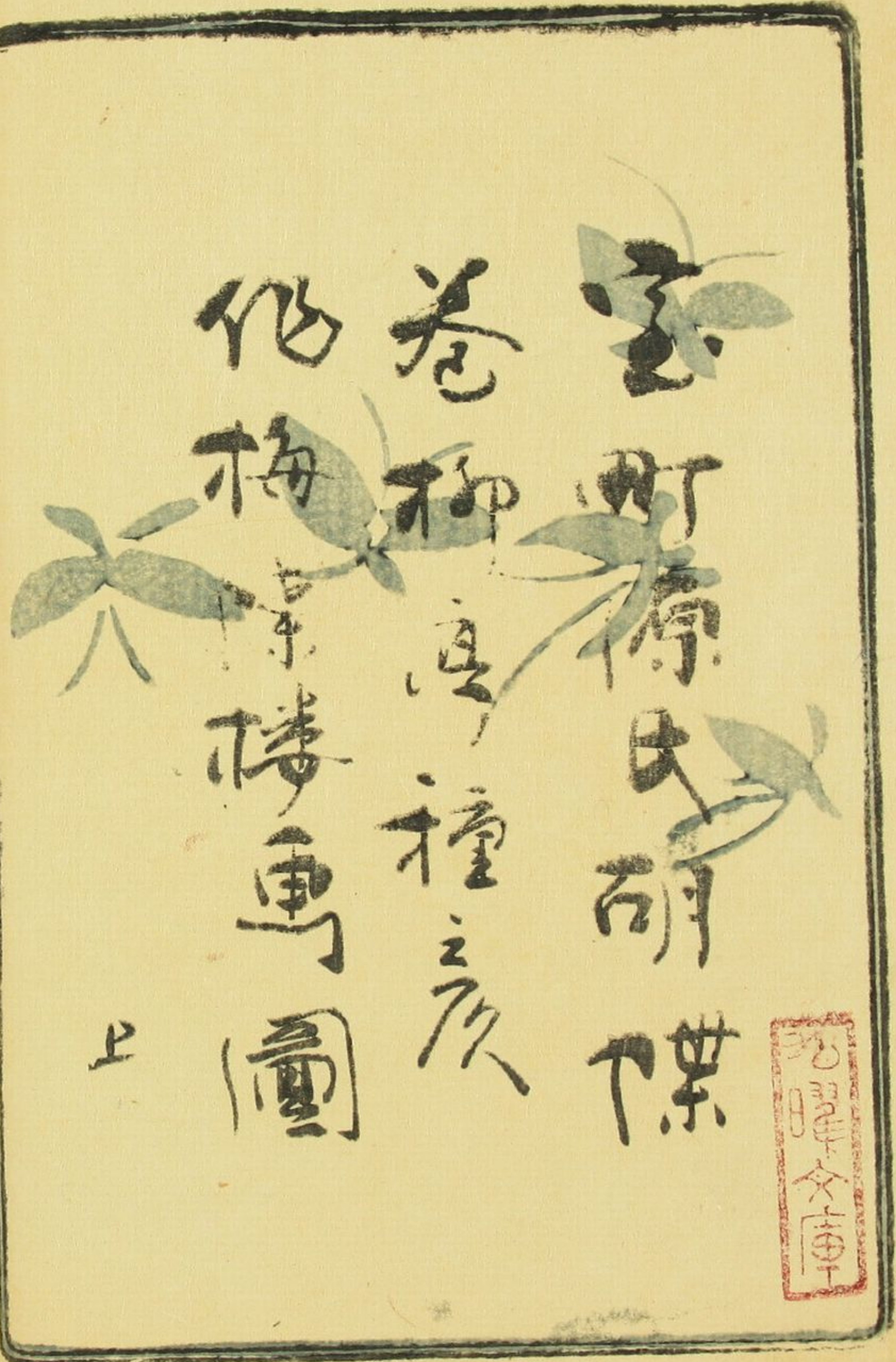


こゝろの
 こゝろの
 こゝろの
 こゝろの

慶應三年の春

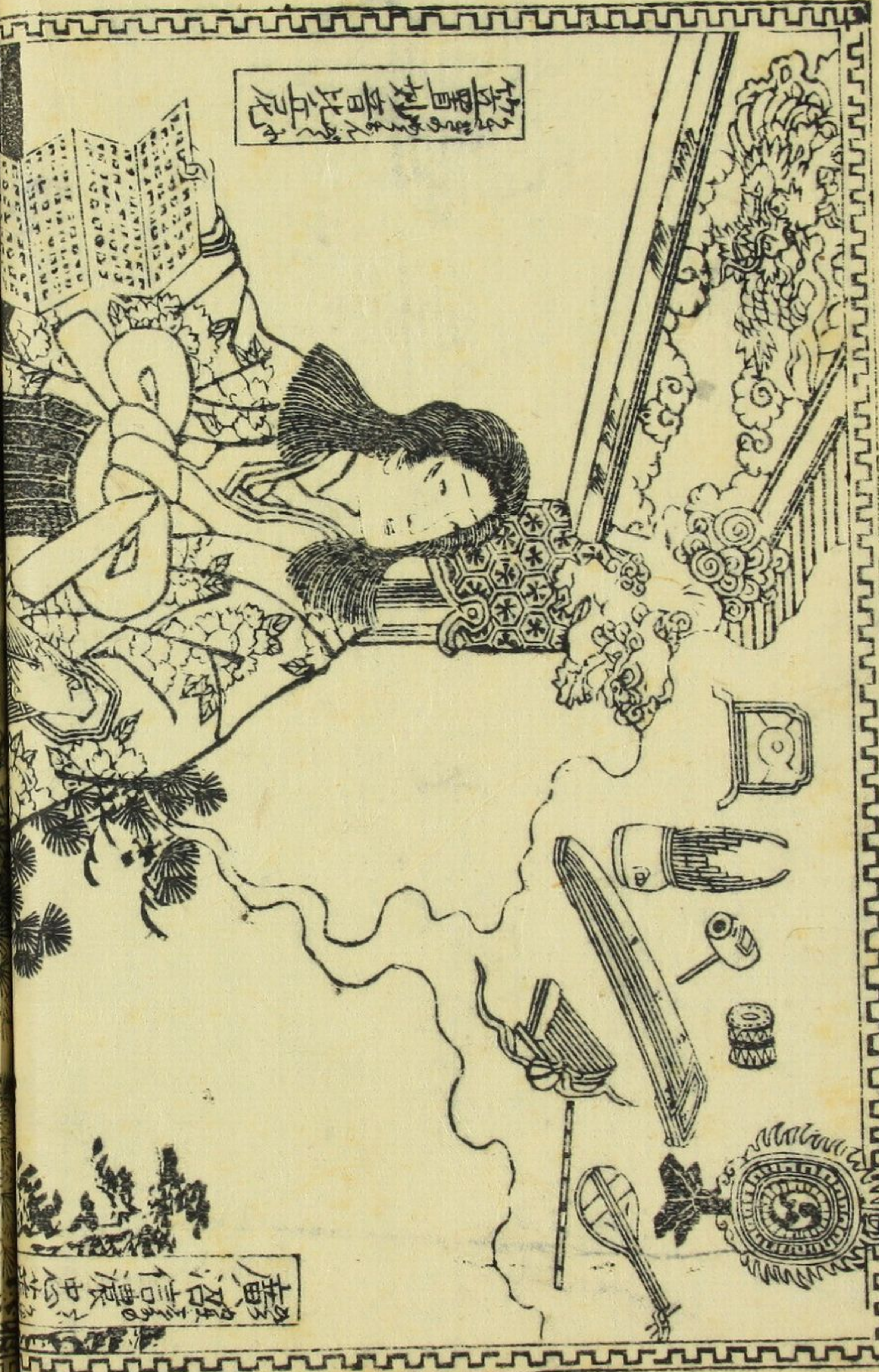
折る
 ひる
 折る
 ひる

蔵



玉灯
 卷柳
 梅

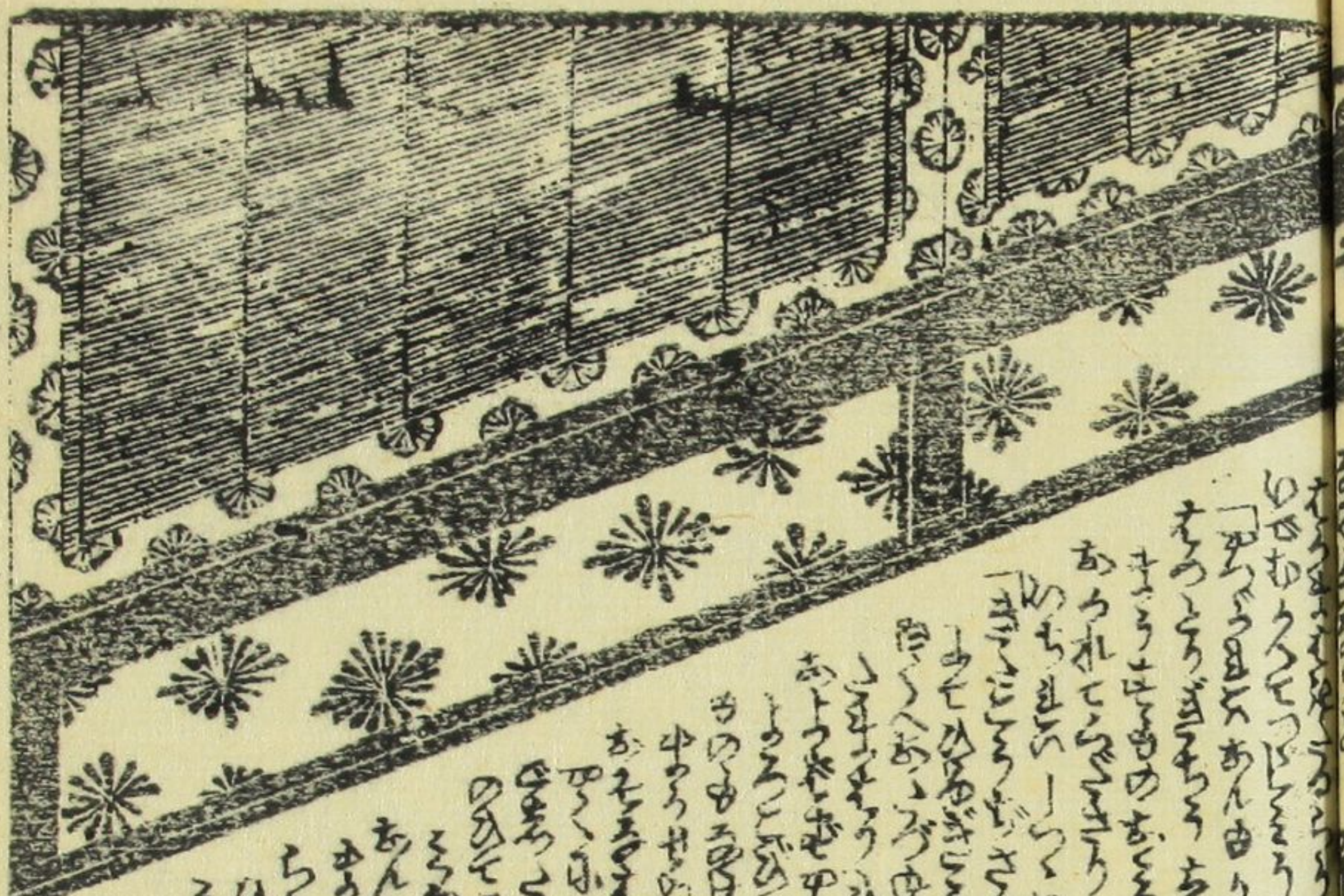
上



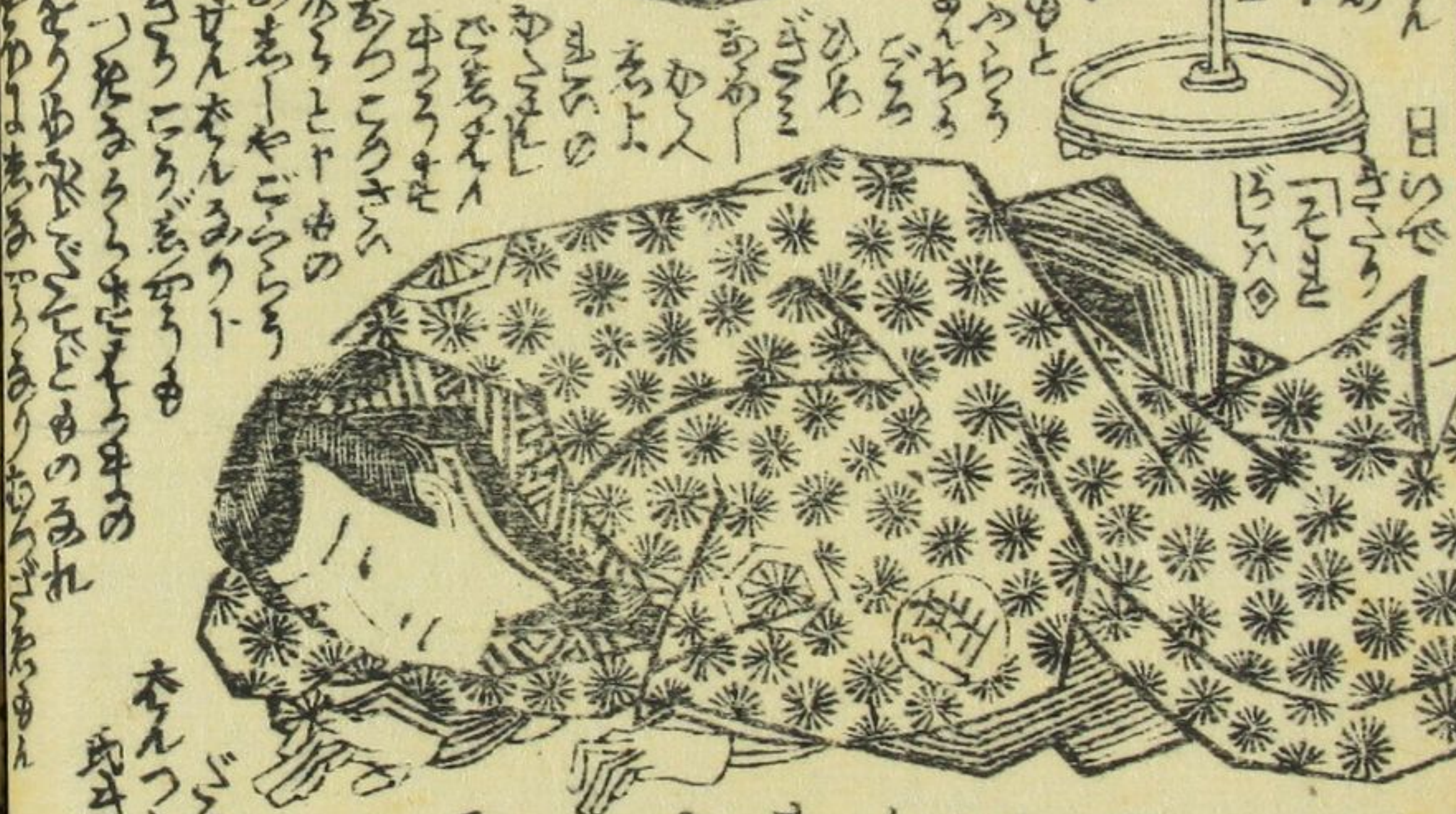
寶善妙音比丘尼

廣召信濃中心





あはれとて...
あはれとて...
あはれとて...



あはれとて...
あはれとて...
あはれとて...

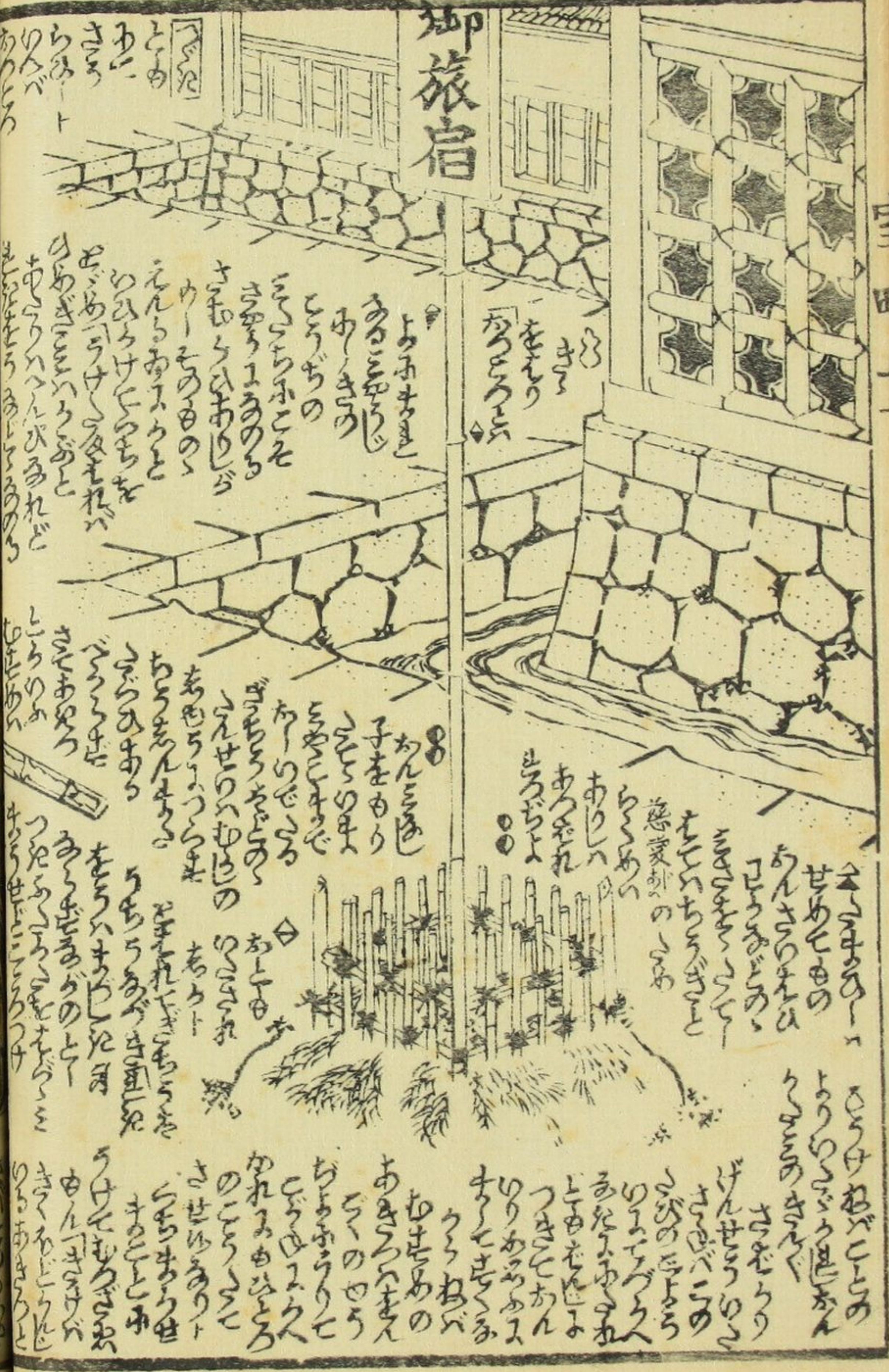
The left page contains vertical columns of text, likely serving as a glossary or descriptive notes for the illustration. The text is written in a cursive Japanese style (kuzushiji).



Vertical text on the left margin, possibly a page number or chapter reference.

Small vertical text at the bottom left of the page.

柳旅宿 (Willow Travel Inn)



The right page contains vertical columns of text, likely serving as a glossary or descriptive notes for the illustration. The text is written in a cursive Japanese style (kuzushiji).



作者種彦
画工國貞

柳蔭月朝妻

六編道
出板
山々亭有人作
梅朝樓國貞画

藝黄鵑八幡不知

五編道
出板
山々亭有人作
錦朝樓芳希画

阿玉々池柳月形

初編ヨリ
追々出板
山々亭有人作
陽齋豊國画

地本綿繪團扇問屋

紅英堂 葛吉

實母散

六編道
出板
山々亭有人作
梅朝樓國貞画



種
名
化

國
貞

十一
編
下





うらち
あふぬ
せうき
まふの
のあだ
うらち

うらち
あふぬ
せうき
まふの
のあだ
うらち

うらち
あふぬ
せうき
まふの
のあだ
うらち

うらち
あふぬ
せうき
まふの
のあだ
うらち

うらち
あふぬ
せうき
まふの
のあだ
うらち

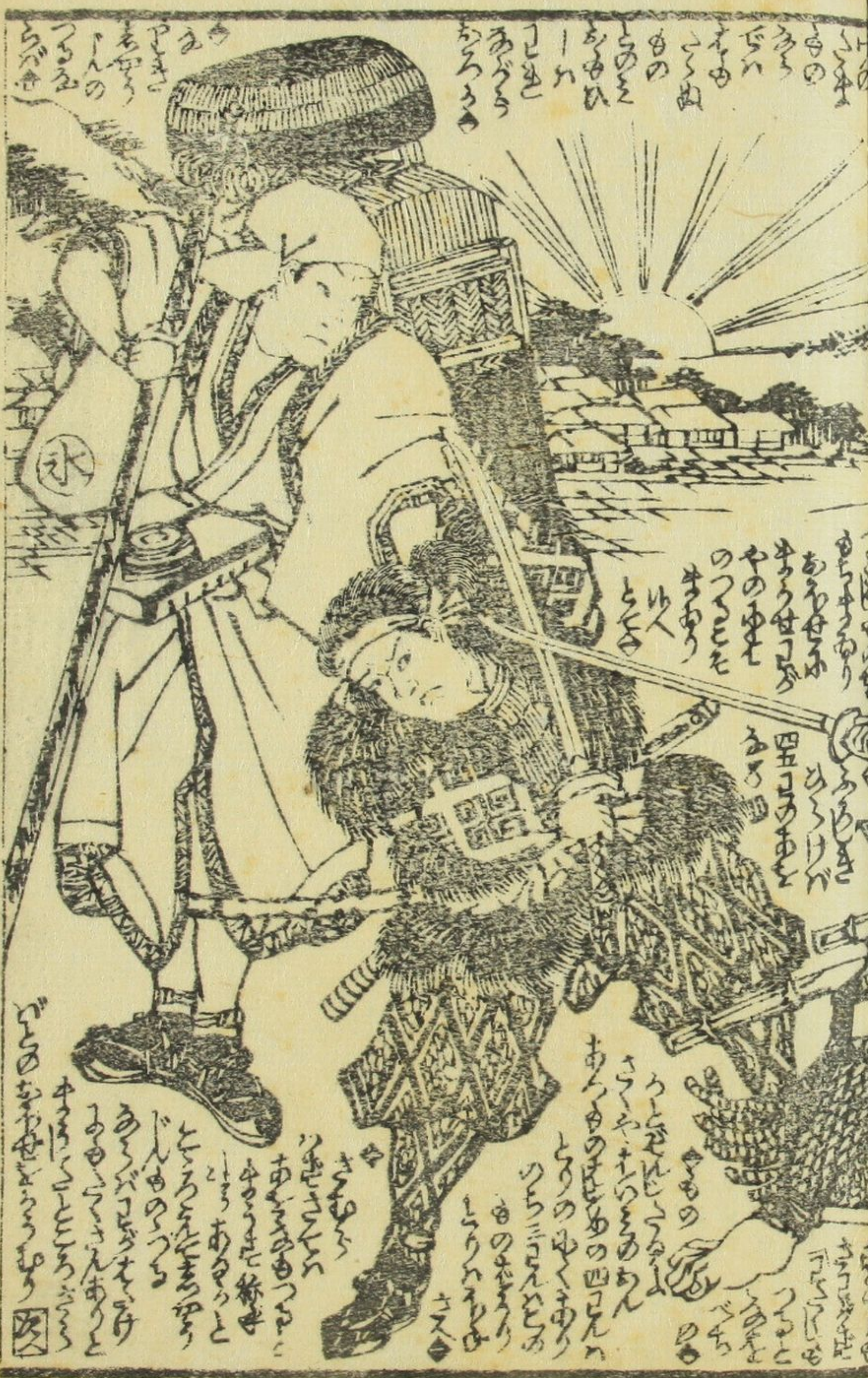
うらち
あふぬ
せうき
まふの
のあだ
うらち

ふ
小
乃
之
下

花
に
原

下

丸
田
文
庫



あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき

あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき

あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき

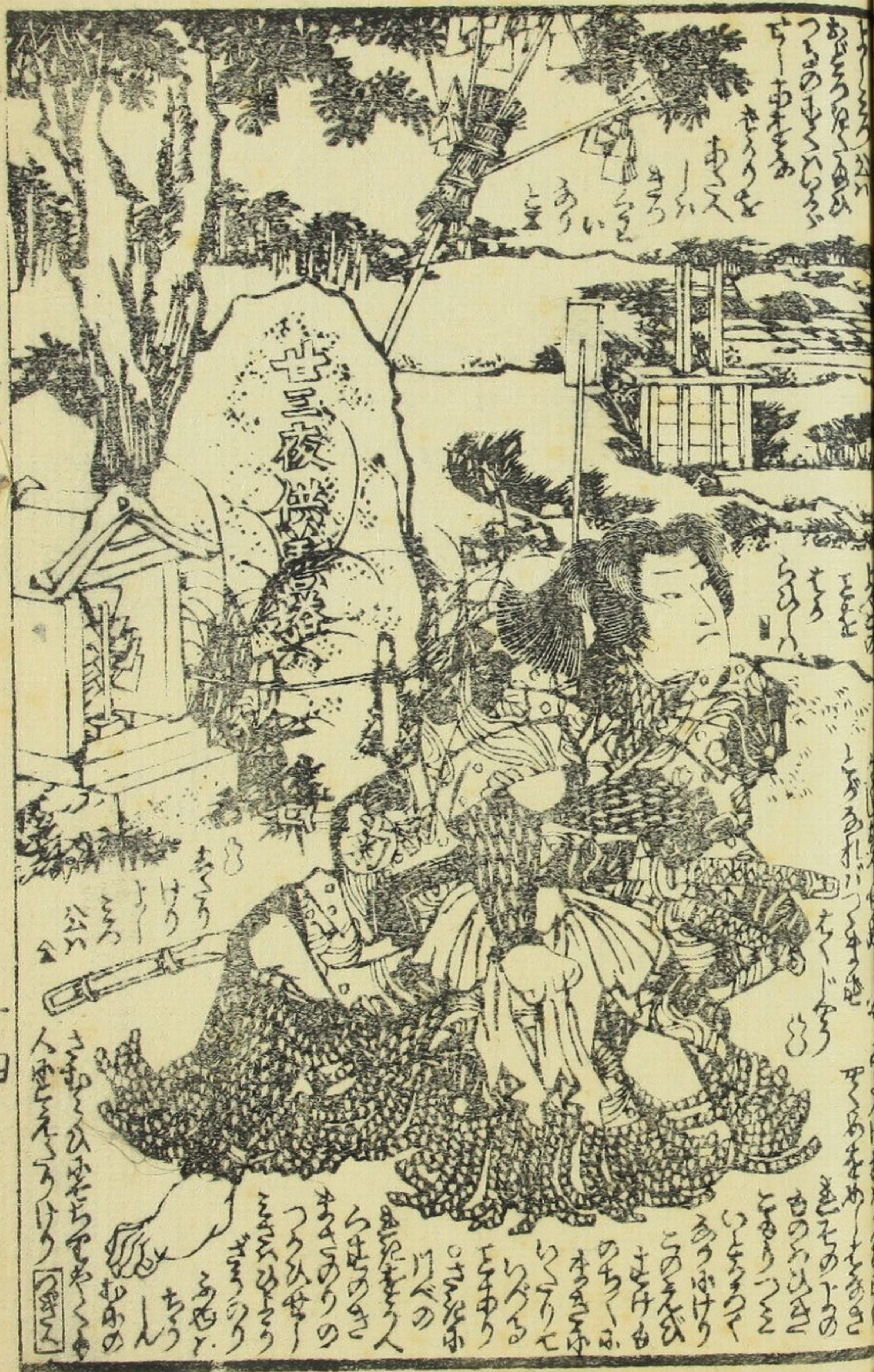


あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき

あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき

あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき

あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき
あつたをき



廿三夜

十四



廿三夜

十五



ちりしけのまぢゆはしあまき
 けりてさけくもありのしるこ
 あれがごのあぢゆいし
 あゆくこぢゆいし
 ちりしけのまぢゆはしあまき
 けりてさけくもありのしるこ
 あれがごのあぢゆいし
 あゆくこぢゆいし



ちりしけのまぢゆはしあまき
 けりてさけくもありのしるこ
 あれがごのあぢゆいし
 あゆくこぢゆいし
 ちりしけのまぢゆはしあまき
 けりてさけくもありのしるこ
 あれがごのあぢゆいし
 あゆくこぢゆいし

明治七年甲戌陽春開板標月

厚化粧萬年嶋田

八編 春水作 國貞画

新司九尾傳

十三編 春水作 國貞画

室町源氏胡蝶卷

廿三編 種彦作 國貞画

筆海四國開書

十三編 種彦作 國貞画

鼠祠通夜譚

八編 種彦作 國貞画

明鴉墨画廻襦袢

十五編 種彦作 國貞画

童謡妙々車

二十五編 種彦作 國貞画

花封茗玉章

十編 種彦作 國貞画

薄倂幼日記

廿七編 春水作 國貞画

八犬傳大の双紙

五編 柳亭作 國政画

七姉と葛飾譚

十編 種彦作 國貞画

南傳馬明堂一月 葛屋吉藏板



耳塚

柳亭種彦著

次川國貞画

麻
子



種
子

十三
福上



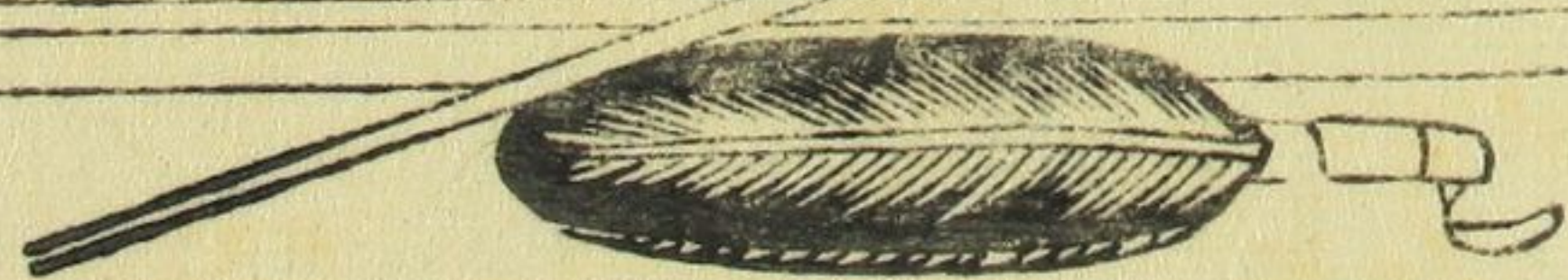
室町源氏胡蝶
卷柳三種之辰
仙梅
上



讀のまは本もあはれ讀本と繪草紙の對合、稱る名目
あへん兒女子の目を悦ばせるふ古來繪を專と詞を加へ
繪の意説くをもてあはれと云詞の客画の玉とて作者を淨
留繪語此画工と三線みはれ准まらぬ非なり讀本の作者を
續草紙の画と二とを並に批評するも、ひよと添て繪の中を
の瑕ともあはれめと讀本よりも長くも續き物の一徳と作者
の先尋ねらるる吾黨の幸あると獨よらるる草
まる窓外の飛交蝶の都雅ゆと俗氣あるもの虫多りと
ニヤアとも鳴が却て難きつげとん黙るふ如くと止る筆
と復た之も世計ゆせんと言ふと背か行して

慶應三年麗月

折る程
自叙





伏見里の
雪の王



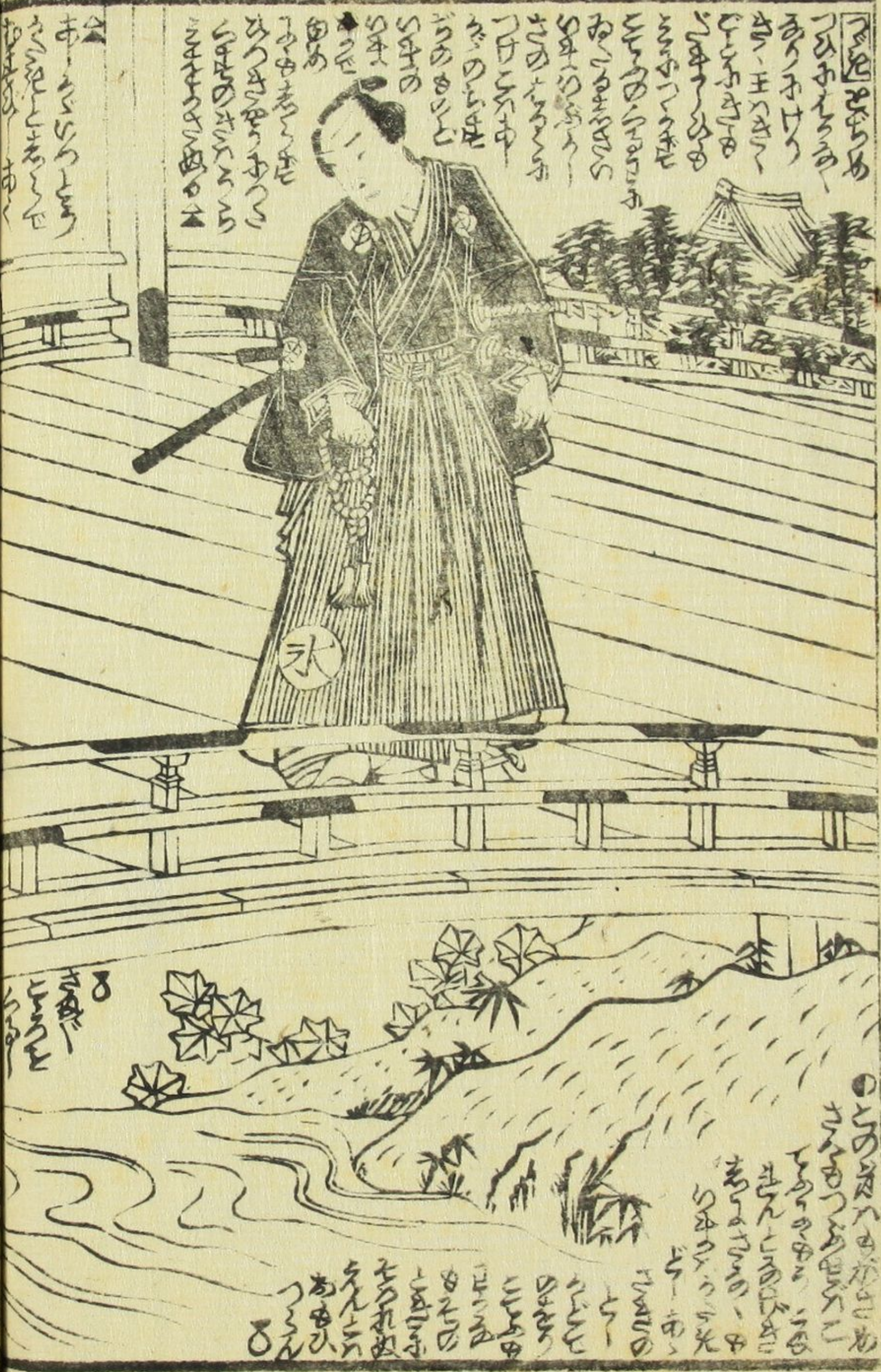
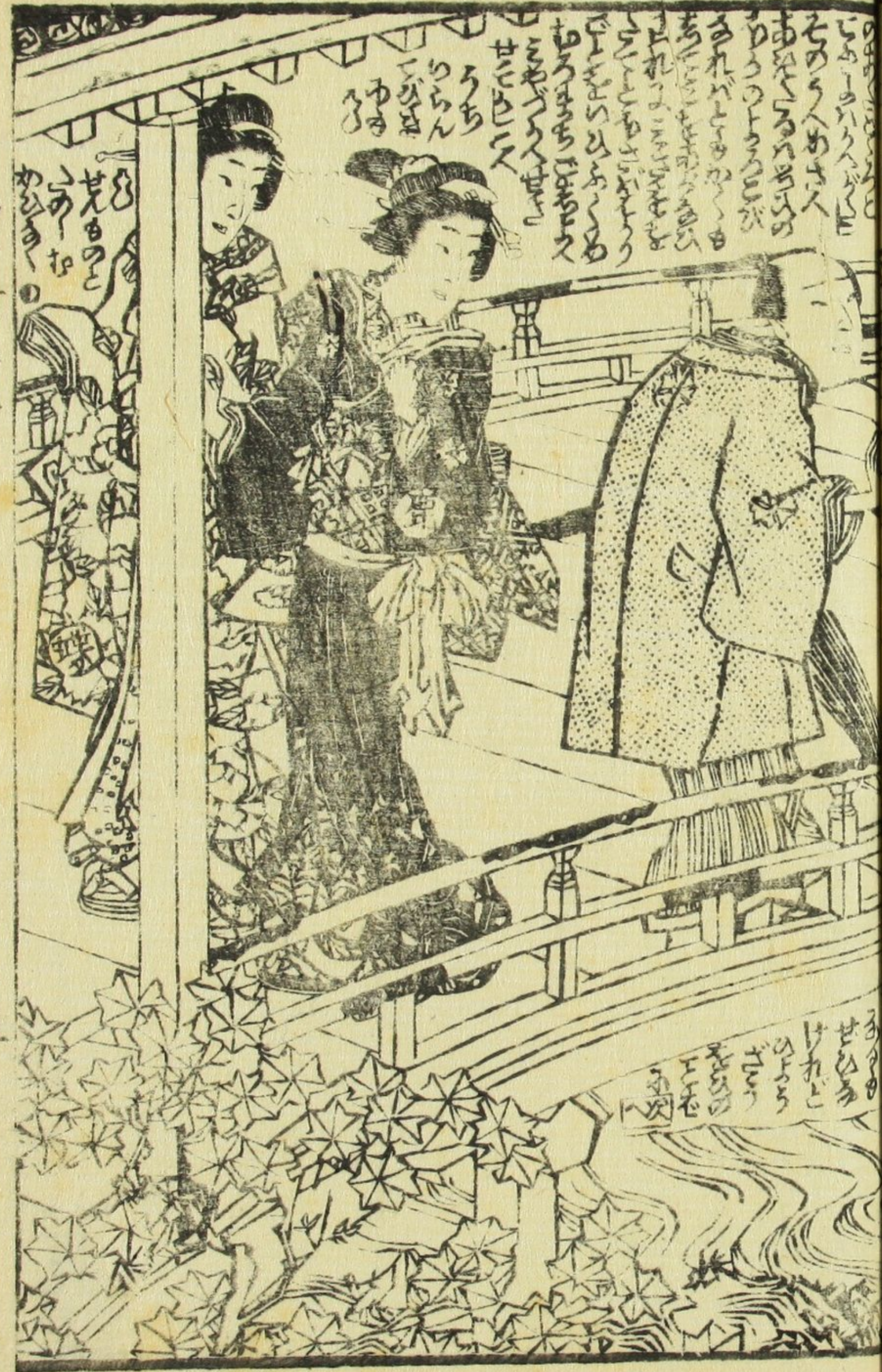
露の宿の
月白

室町の
花の君

鳥の鳴き声
 春の訪れ
 新田の風景
 田舎の生活
 自然の美しさ
 人間の営み
 心ゆくまで
 楽しむこと
 大切にして
 生きていく
 ことだ



春の訪れ
 新田の風景
 田舎の生活
 自然の美しさ
 人間の営み
 心ゆくまで
 楽しむこと
 大切にして
 生きていく
 ことだ

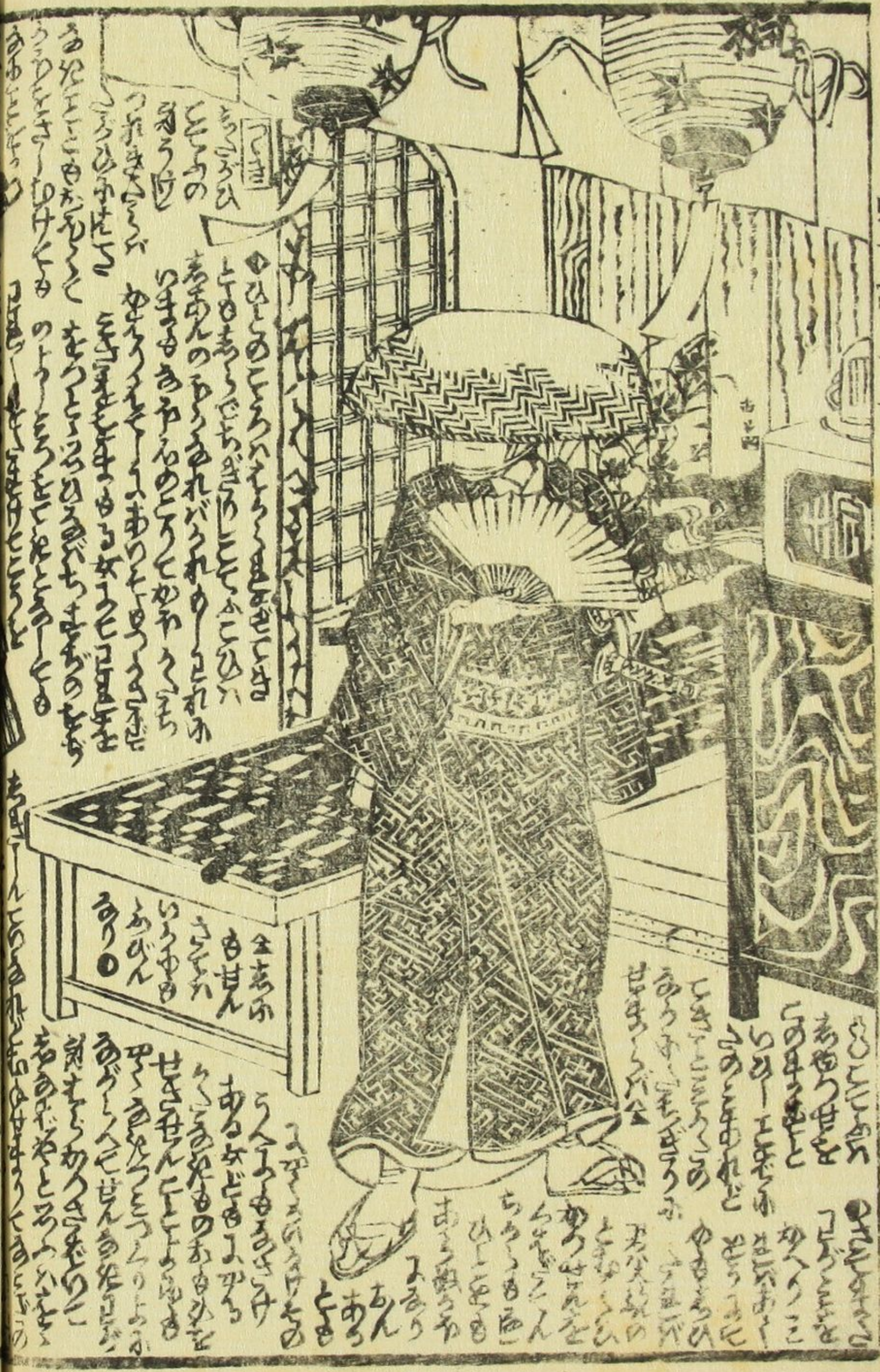


五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十



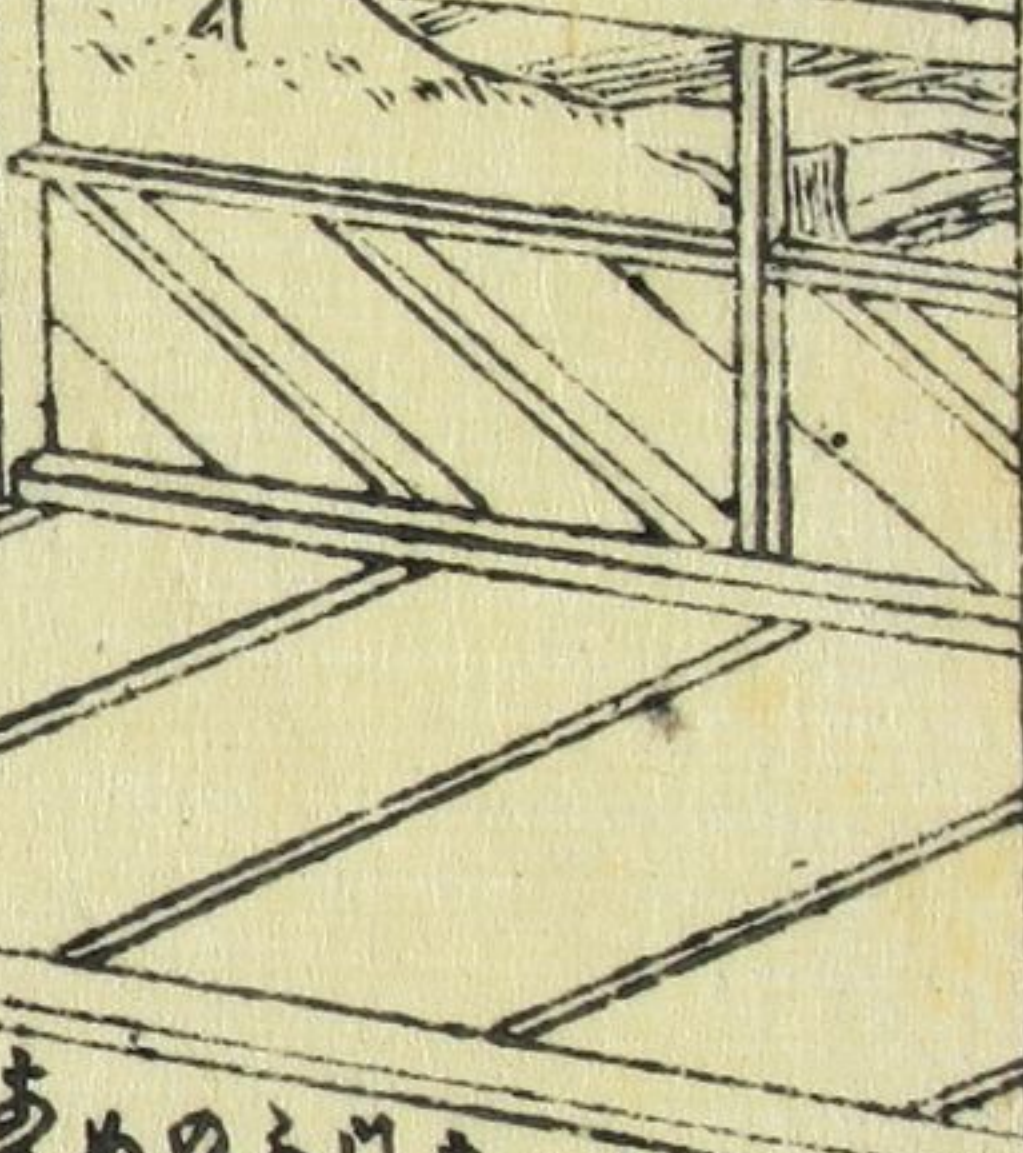
二
 二世の...
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十



田中
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十

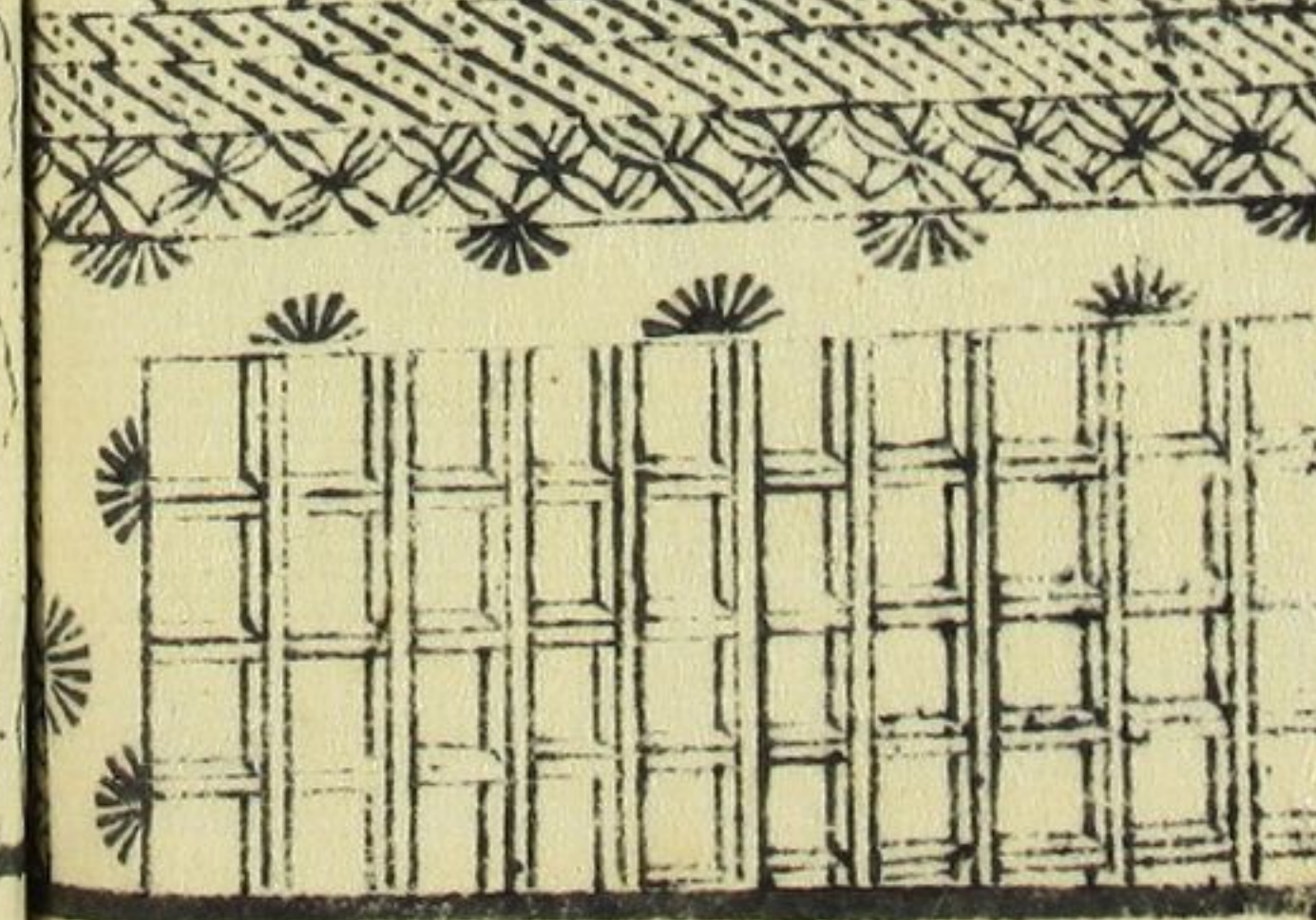
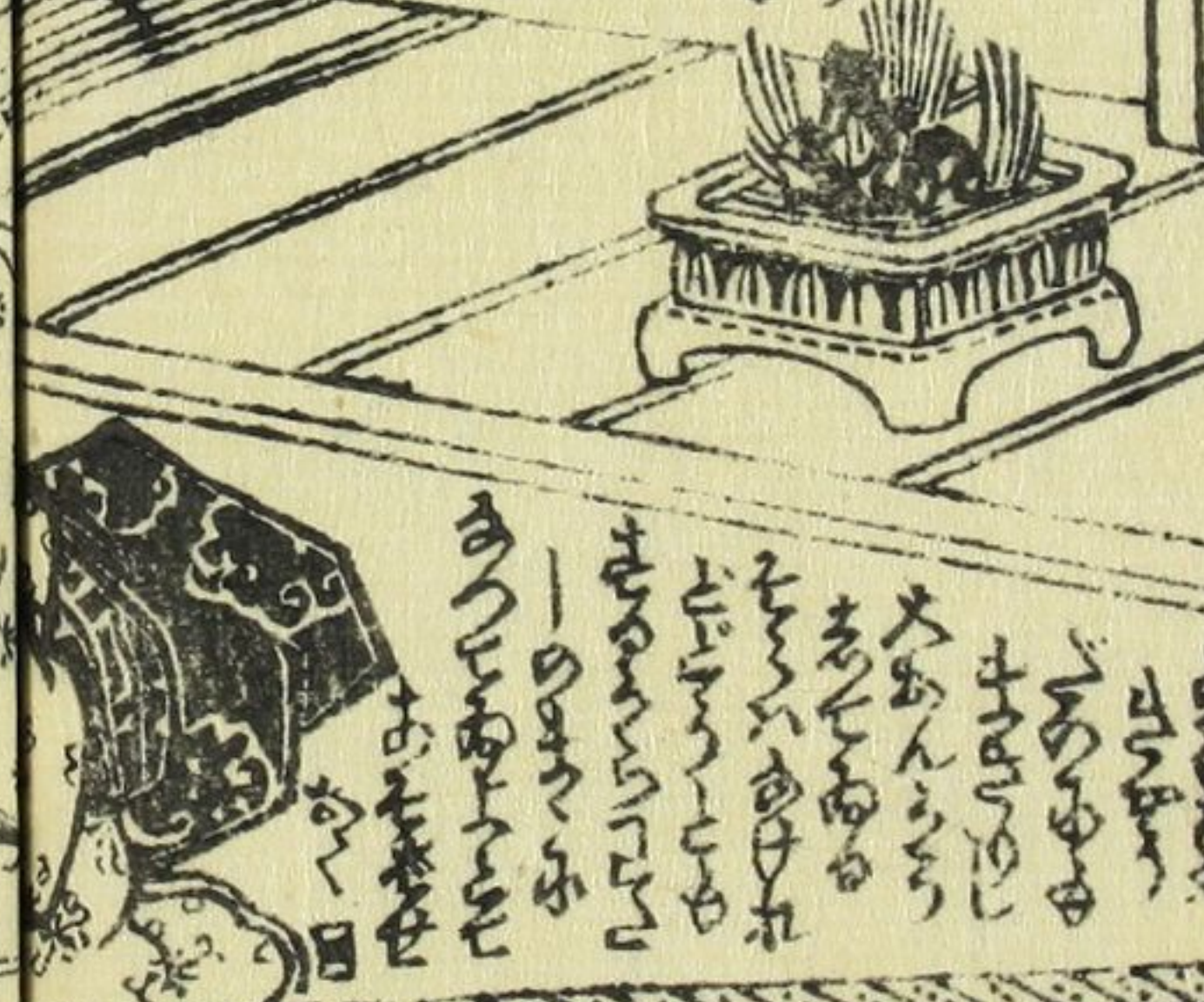


山手山
Sawamura
Yamate
Yamate
Yamate
Yamate
Yamate

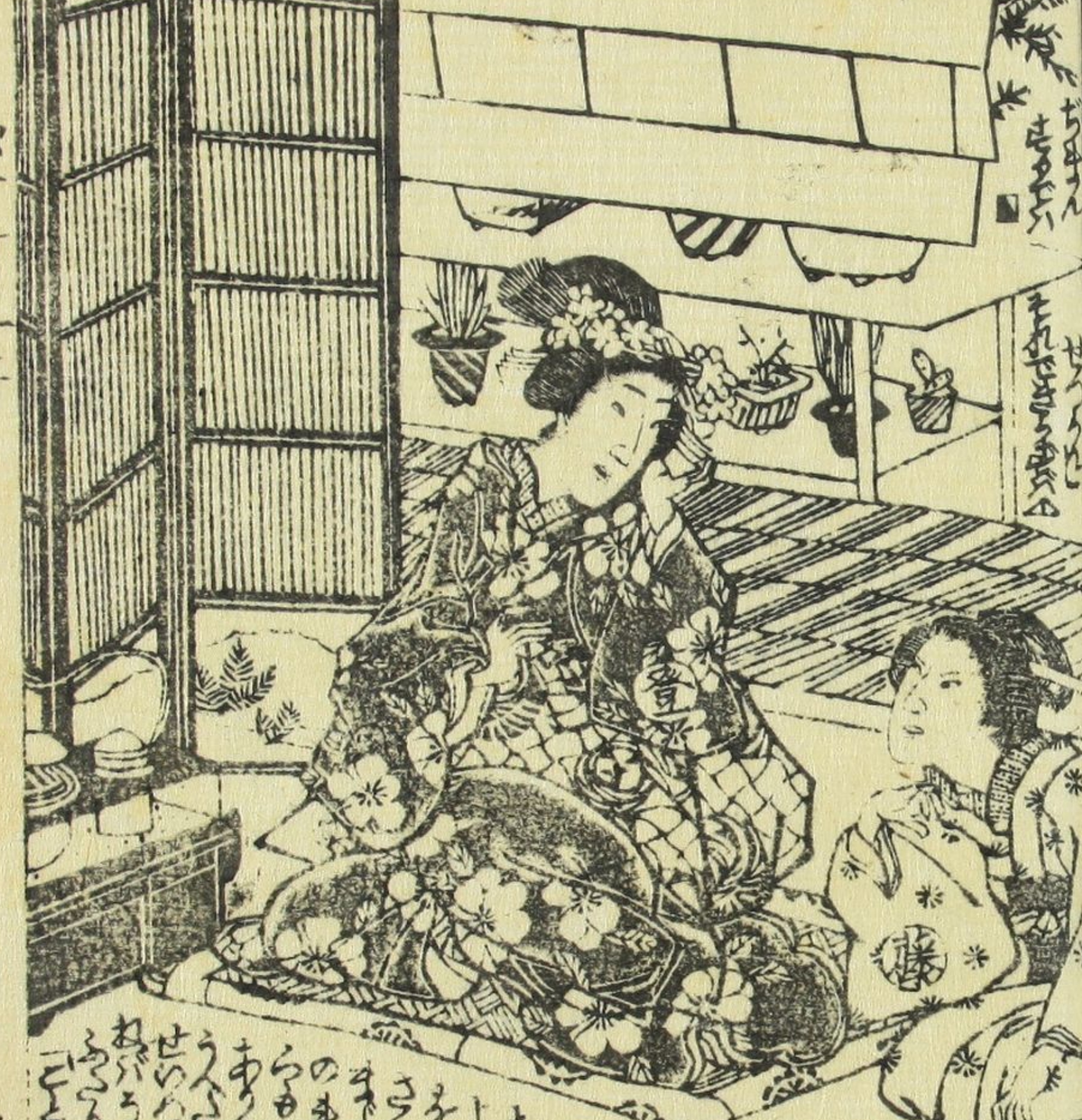


山手山
Sawamura
Yamate
Yamate
Yamate
Yamate
Yamate

山手山
Sawamura
Yamate
Yamate
Yamate
Yamate
Yamate



山手山
Sawamura
Yamate
Yamate
Yamate
Yamate
Yamate



山手山
Sawamura
Yamate
Yamate
Yamate
Yamate
Yamate

Handwritten text in vertical columns, likely a transcription of the painting's content or a commentary. The text is written in a cursive style and surrounds the central illustration.



鍾彦作國貞画

實母散

Handwritten text below the '實母散' title, including the artist's name '十條内傳馬町東門' and other details.

柳蔭月朝妻

出板 山々亭有人作 柳朝樓國貞画

藪黃鷗八幡不知

出板 山々亭有人作 柳朝樓芳希画

阿玉ヶ池櫛月形

出板 山々亭有人作 陽有豊画

地本綿繪團扇問屋

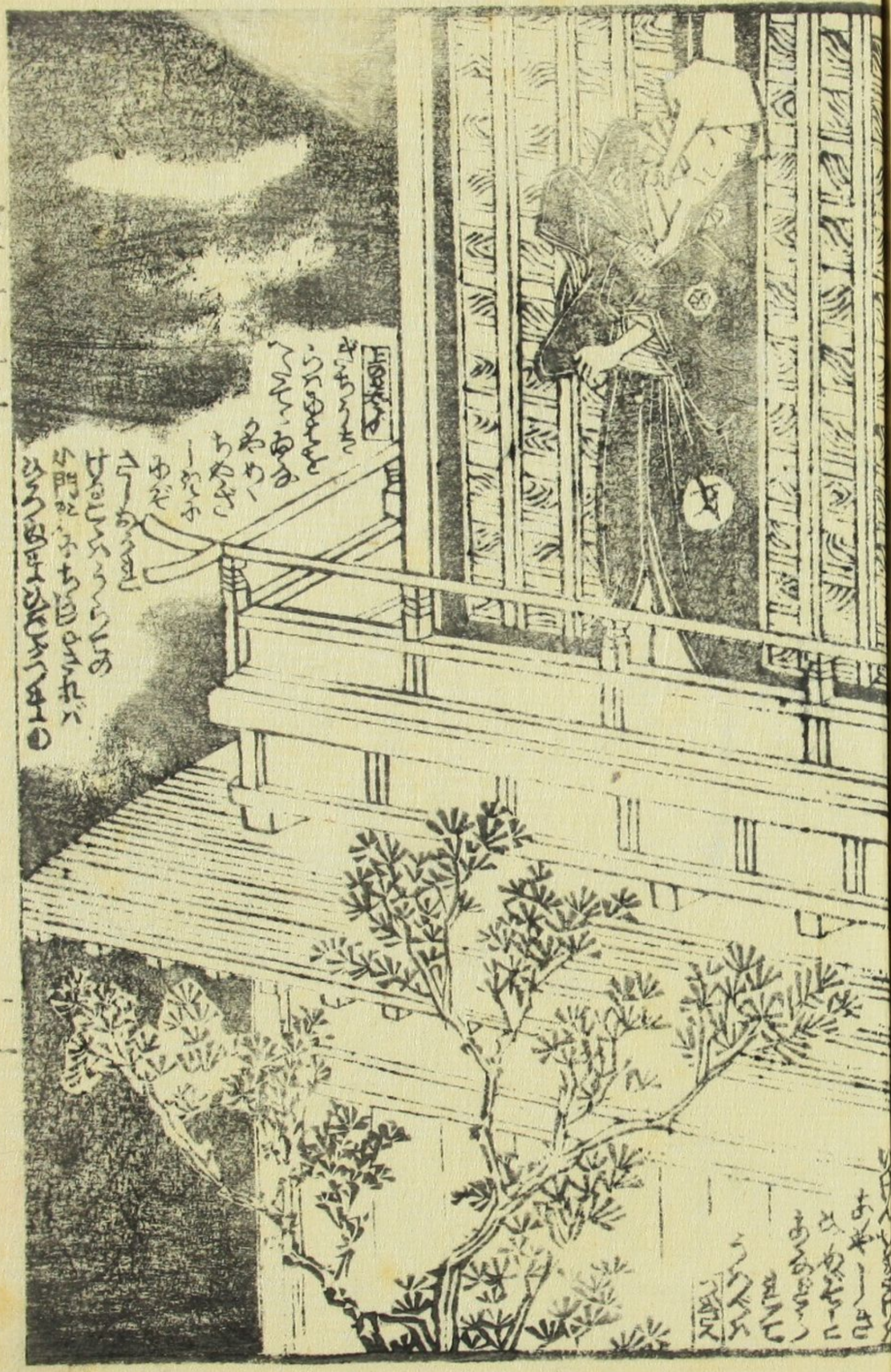
出板 萬吉

源氏物語



十二卷下





Handwritten text on the left side of the illustration, including the characters 'Hokke' and 'Shin'.

Small handwritten text at the bottom right of the illustration.

A large rectangular frame containing handwritten Japanese calligraphy in cursive style. The characters are arranged in several vertical columns. There are also green ink washes of leaves and branches interspersed with the text.





物化舊同庭更夢

物化舊同庭更夢



物化舊同庭更夢

物化舊同庭更夢

物化舊同庭更夢



Handwritten text in a cursive script, likely a form of shorthand or a specific dialect, located at the top of the right page.

Handwritten text in a cursive script, located in the middle section of the right page, above the illustration.

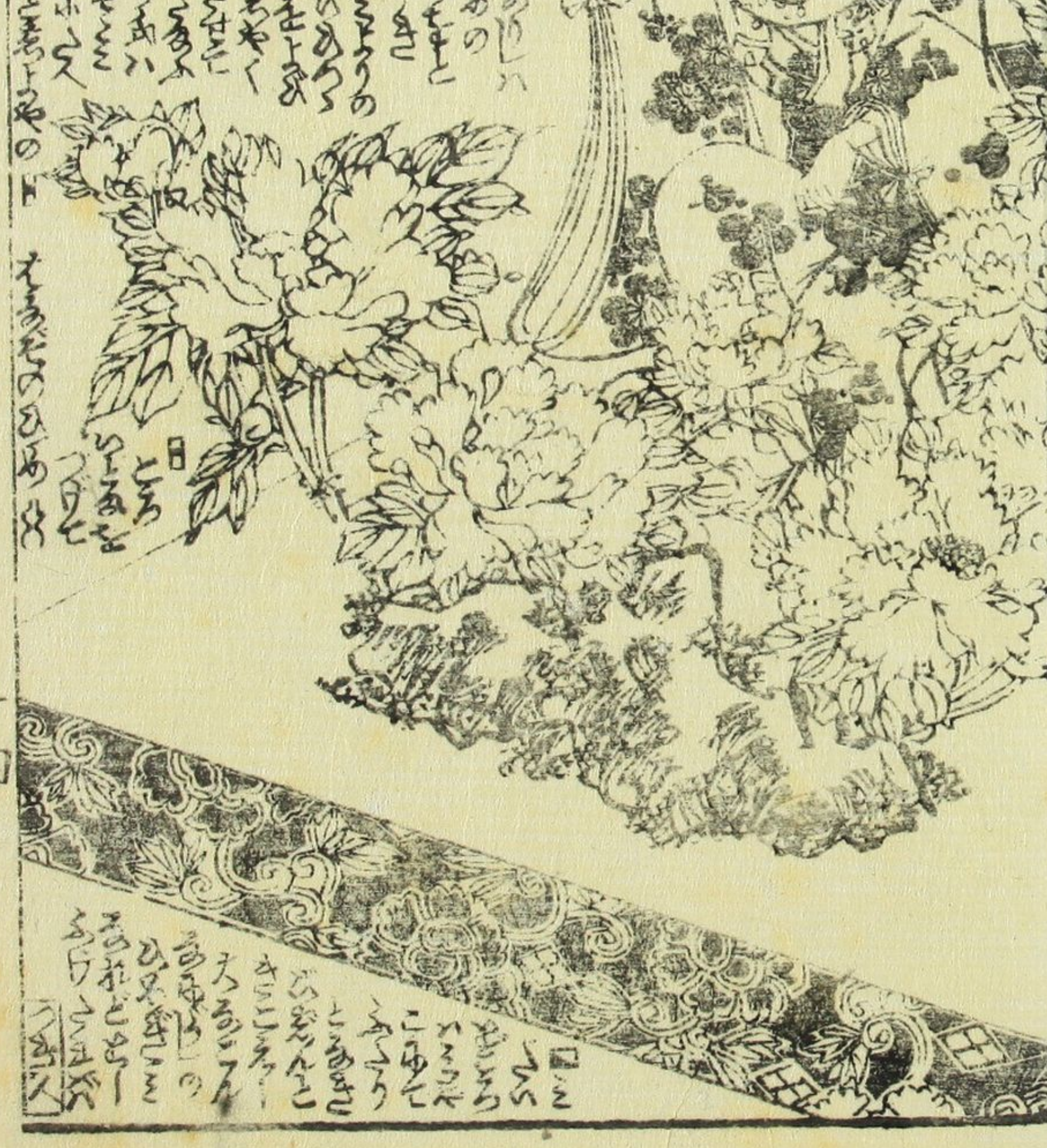
Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the right page, below the illustration.

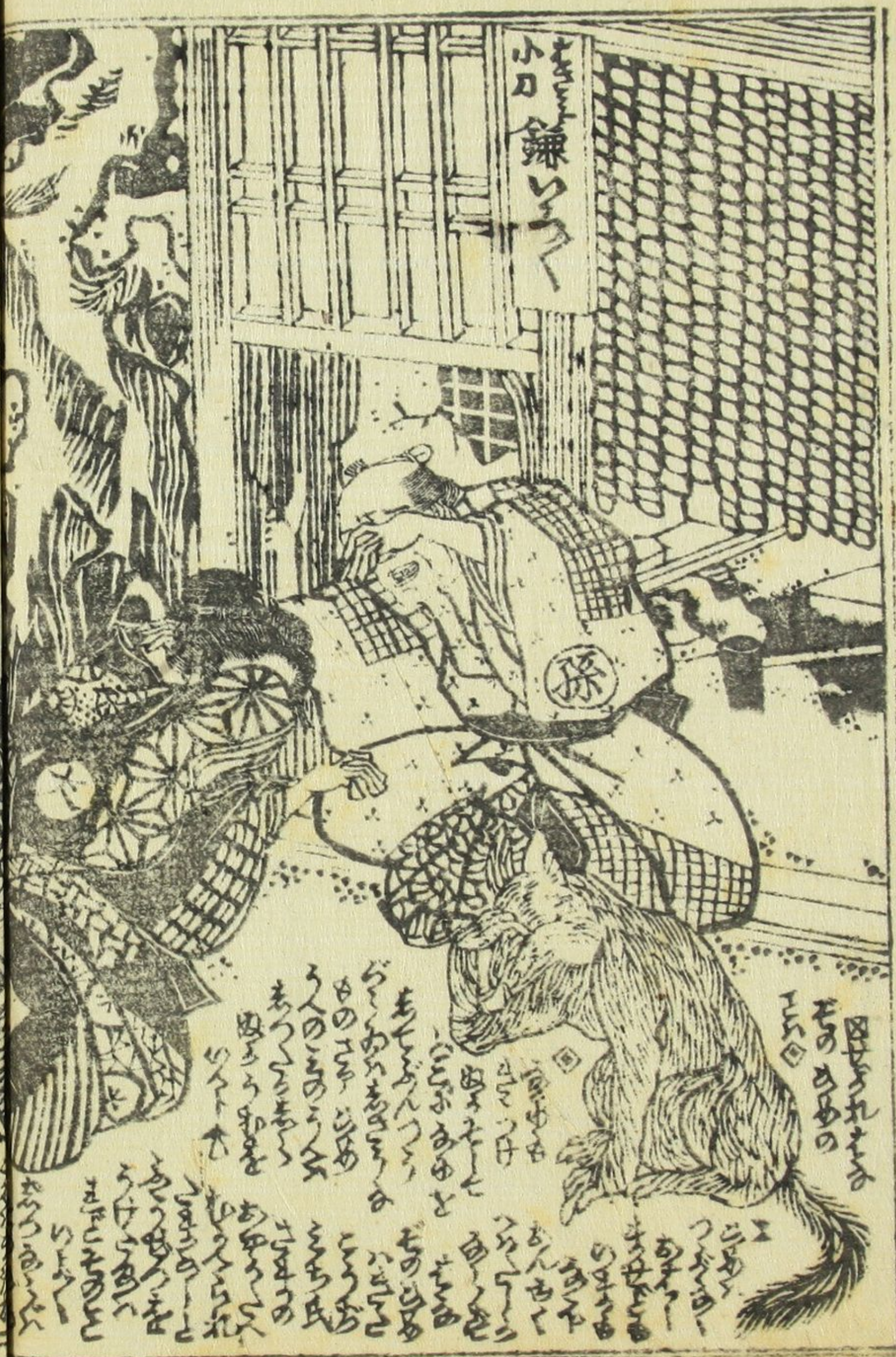


Handwritten text in a cursive script, located at the top of the left page.

Handwritten text in a cursive script, located in the middle section of the left page, above the illustration.

Handwritten text in a cursive script, located at the bottom of the left page, below the illustration.



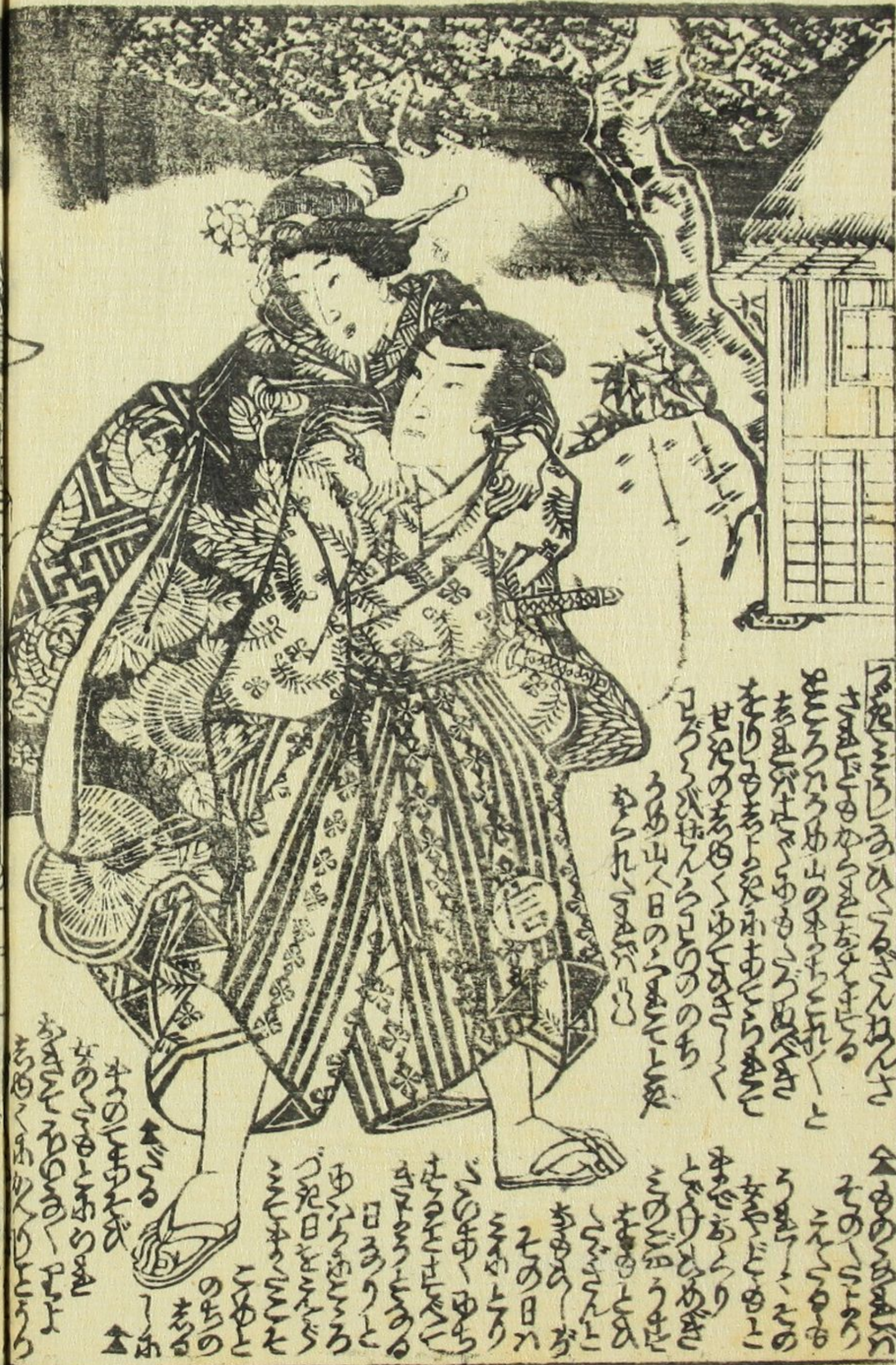


犬の
 名は
 犬王
 といふ
 其の
 性
 勇
 猛
 也
 昔
 年
 某
 村
 有
 一
 家
 其
 家
 主
 有
 一
 子
 名
 曰
 犬
 王
 其
 性
 勇
 猛
 也
 昔
 年
 某
 村
 有
 一
 家
 其
 家
 主
 有
 一
 子
 名
 曰
 犬
 王
 其
 性
 勇
 猛
 也



此
 人
 名
 曰
 犬
 王
 其
 性
 勇
 猛
 也
 昔
 年
 某
 村
 有
 一
 家
 其
 家
 主
 有
 一
 子
 名
 曰
 犬
 王
 其
 性
 勇
 猛
 也
 昔
 年
 某
 村
 有
 一
 家
 其
 家
 主
 有
 一
 子
 名
 曰
 犬
 王
 其
 性
 勇
 猛
 也

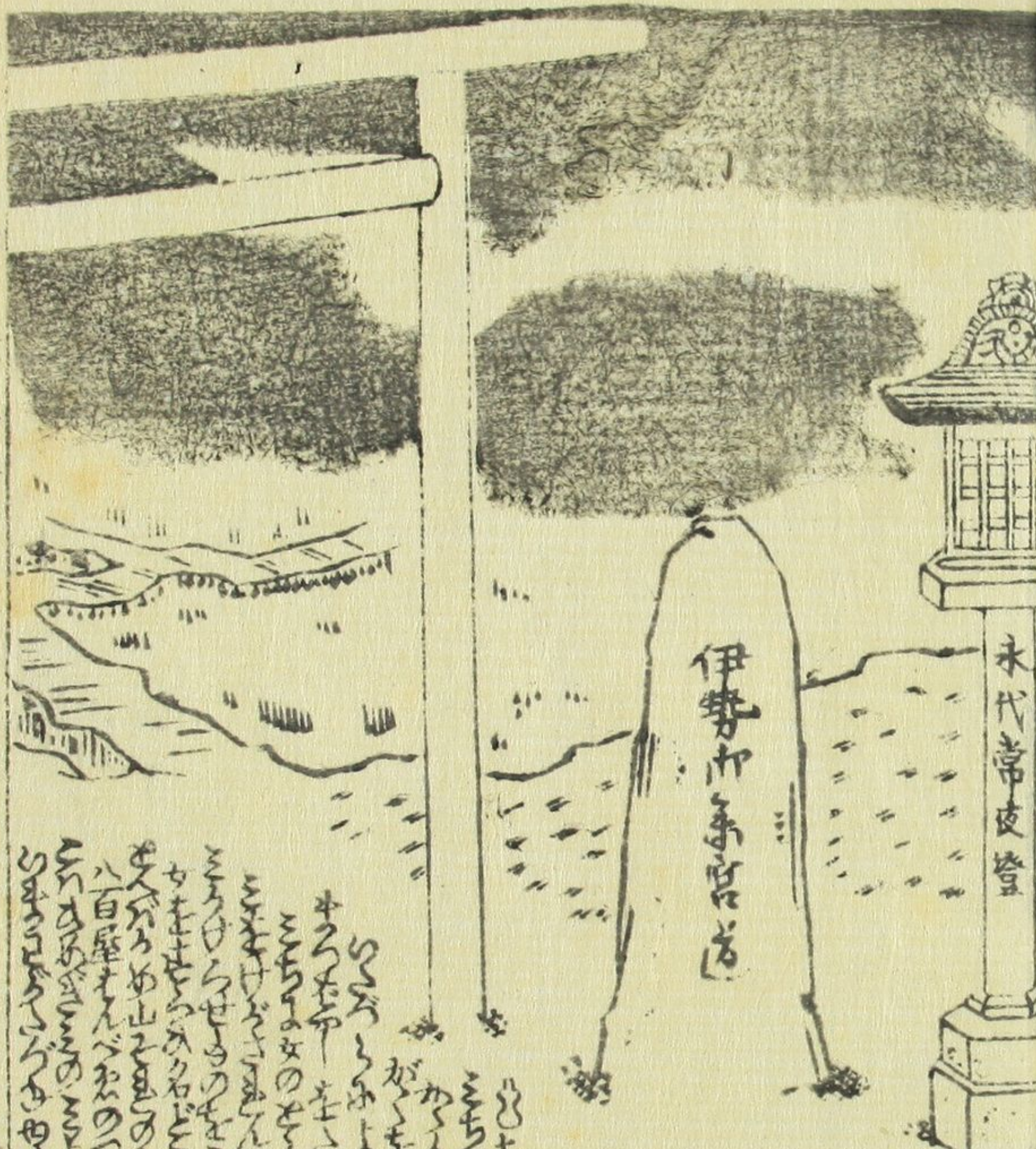
犬王



夫の心は
 山に雲の如く
 人の心は
 水に波の如く
 人の心は
 雲の如く
 人の心は
 水に波の如く

夫の心は
 山に雲の如く
 人の心は
 水に波の如く
 人の心は
 雲の如く
 人の心は
 水に波の如く

夫の心は
 山に雲の如く
 人の心は
 水に波の如く



伊勢市

永代常皮登

夫の心は
 山に雲の如く
 人の心は
 水に波の如く
 人の心は
 雲の如く
 人の心は
 水に波の如く
 人の心は
 雲の如く
 人の心は
 水に波の如く
 人の心は
 雲の如く
 人の心は
 水に波の如く



山にけり
 水はたぎり
 流るる水
 けりては
 けりては
 けりては
 けりては



水はたぎり
 流るる水
 けりては
 けりては
 けりては
 けりては
 けりては
 けりては



水はたぎり
 流るる水
 けりては
 けりては
 けりては
 けりては
 けりては
 けりては

明治七年甲戌陽春開板標月

厚化粧萬年嶋田

八編 春水作
國負画

新島九尾傳

十三編 春水作
國負画

室町源氏胡蝶卷

廿三編 種彦作
國負画

筆海四國圖書

十三編 種彦作
國負画

鼠祠通夜譚

八編 種彦作
國負画

明鴉墨画題補檔

十五編 種彦作
國負画

童謡妙々車

十五編 種彦作
國負画

花封答玉章

十編 種彦作
國負画

薄倂幼日記

廿五編 春水作
國負画

八犬傳大の及紙

十五編 柳亭作
國負画

七幼女葛飾譚

十編 種彦作
國負画

南傳馬町堂丁月
葛屋吉藏板

種彦作國負画



室田十二

十二

